明治三十九年九月十日第三種郵便物認可
年中無休刊（但大祭日翌日休刊）

京城日報

一日刊

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七十五錢 三ヶ月前金二圓十錢 六ヶ月前金四圓

廣告料 五號活字十六字詰一行金壹圓 …

發行兼編輯人 奥田直 印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

時間表 （南行）（北行） [illegible]

○帝國海軍益活動か

日本は聯合軍側との地中海に於ける海軍共同動作を大に增大すべしとの說あり（桑港電報）

▽同上別報

日本海軍は戰局の現狀と航行船舶危險防止の爲め地中海に艦艇を増派すべし（紐育電報）

○支那借款と軍隊訓練

日本軍人招聘說

支那は獨逸に對して宣戰すると同時に墺太利とも斷交し協商國より五千萬磅を借款し支那の軍事を協商國の監理に歸せしめ日本の軍人をして支那軍隊を訓練せしむべしとの說行はれ居れり（上海特電）

○時局解決方法如何

段内閣は南方民黨の提案を承認するや否やに就き連日協議し汪大燮、范源濂、張國淦等の諸氏は平和解決を主張せるも段祺瑞氏在右の者を始め梁啓超、湯化龍、曹汝霖、林長民等の諸氏は意志疏通の如きは言ふ可くして行はれず北方督軍等も調停に反對なれば寧ろ此の際武力を用ひて南方派を壓倒するに如かずと主張し結局武力解決の方針に決せり唯馮國璋氏が依然陸榮廷氏を介し時局を平和の裡に收拾せんとの意嚮を示し居るより兎も角馮氏上京迄實行を中止することゝせり（北京特電）

○馮國璋氏北上す

副總統馮國璋は三十一日朝南京出發北上の途に就けり（上海特電）

○雲南軍成都に迫る

成都來電＝雲南軍は三縱隊を以て成都に迫り攻勢を執り居れり尙劉存厚氏の手兵は僅に二個師團半なれば結局雲南軍は劉軍を破り成都に入る可し（北京特電）

○露國の外國品禁輸

露國政府は外國品給與局又は商工務省の特別許可書あるもの丶外一切の外國品の輸入を禁止したる爲め當地に於ては一大恐慌を來せり（哈爾賓特電）

○首相に無限の權力を

露國内閣員の多數は全部其の印綬の處分を首相ケレンスキイ氏に一任し以てケ氏の權力を無限ならしめんとせり（桑港電報）

○戰爭繼續は無意味也

獨首相墺外相の共同宣言

獨逸宰相ミハエリス氏及び墺國外相チェルニン伯は伯林と維納に於て共同宣言書を發し（一）佛蘭西がアルサスローレンの恢復、ザール河流域を含むライン河左岸の地域及びシリヤ獲得の目的にて舊露西亞と同盟せる事（二）伊太利が其の領土擴張の意圖に對し聯合國より保障を得たることを攻擊せり而して獨逸宰相は帝國議會に於てチェルニン伯は別個の宣言に於て獨逸は決して無理なる征服を欲するものに非ざることを嚴肅に聲明し且つ此の故に戰爭の繼續は遂に無意味なりと附言せり（倫敦電報）

○吳氏廣東へ向ふ

衆議院議長吳景濂氏は三十一日廣東へ向け出發せり（北京特電）

○馮氏家族北上

馮國璋氏の家族は二十九日北京に著したり（北京特電）

○通信局長會議

遞信省は全國に於ける通信事務疏通の爲め通信局長會議を八月一日より七日間開會して是れが善後策を協議すべし（東京特電）

□兩陛下御避暑

九月中旬迄御駐輦

天皇、皇后兩陛下には日光へ御避暑行幸啓の爲一日午前七時十五分鷹司侍從長、大森皇后宮太夫以下供奉の諸員を隨へさせられ宮城御出門、近衛第一兩師團兩部隊の堵列せる御順路を御通過あり上野停車場に成らせられ各宮殿下文武百官奉迎送の裡に御機嫌麗はしく同四十分御發車、十一時四十分日光御著、直ちに御馬車にて田母澤御用邸に成らせられたり來る九月中旬まで御駐輦あらせらるべき御豫定なりと承はる（東京特電）

○神戸電氣市營

神戸市の電氣會社は八月一日より愈々市營となれり（大阪特電）

○牧山代議士歸鮮

代議士牧山耕藏氏は一日朝新羅丸にて釜山著十時半發の列車にて歸京の途に就けり（釜山特電）

○吉田朝郵專務

朝鮮郵船會社專務吉田秀次郎氏は一日朝新羅丸にて釜山著同夜十一時發列車にて歸京の途に就くべし（釜山特電）

○長官會議

三十一日は定例長官會議日なりしも當日は鐵道統一の爲め多忙なりしに付き之を中止し一日午前十時總督府第一會議室に開會山縣政務總監以下各部長官局長所屬官署の長等出席し重要政務に就き協議打合せの上正午散會したり

○鐵道局務開始

三十一日事務の引繼ぎを了へたる總督府官房鐵道局は一日より仝局入見局長をはじめ局員一同登廳事務を執れり

○新任者挨拶

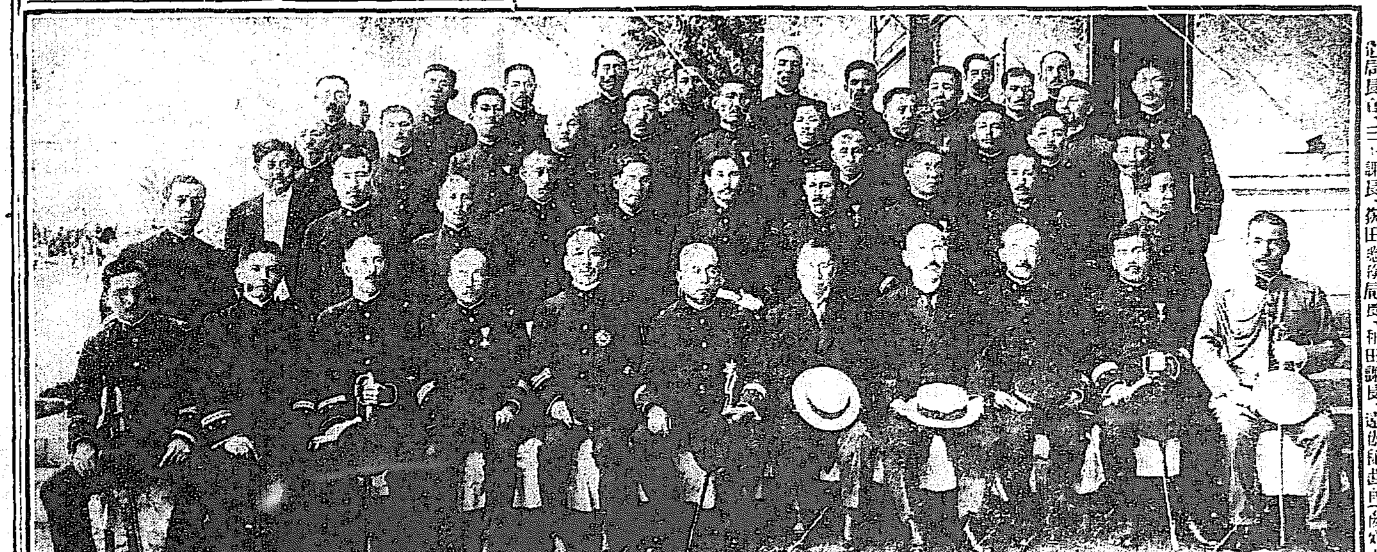
總督府官房鐵道局長入見次郎氏以下同局高等官は一日午前山縣政務總監はじめ各部長官局長、課長等に對して其れ〴〵新任の挨拶を爲せり

○鐵道局員任命

總督府官房鐵道局長として入見次郎氏任命されしは本紙東電既報の通りなるが以下の主要職員も亦た三十一日附左の如く任命ありたり

總督府事務官 和田駿

總督府官房鐵道局監理課長を命ず 總督府技師 新田留次郎
同工務課長を命ず 總督府事務官 中村寛猛
同 澤崎修
同監理課勤務を命ず 總督府技師 岩崎直雄
同 今泉茂松
同 岡本清
同工務課勤務を命ず 總督府技師 永田光之助
同工務課兼監理課勤務を命ず



◆鮮滿鐵道統一の日記念撮影（前列右より）高橋總督附武官、入見新鐵道局長、横井滿鐵京城管理局長、久保滿鐵庶務課長、國澤滿鐵理事長、大屋前鐵道局長官、三[illegible]課長、荻田總務局長、和田課長、遠藤秘書官（後列略）

○理事長巡視

入京中の國澤滿鐵理事長久保上田兩高級社員は一日午前十時三十分より横井局長三本稻垣加藤鷲尾各課長の東道にて京城管理局内の各課を巡視執務狀況を視察せり

○理事長全線巡閲

入京中の國澤滿鐵理事長久保庶務課長上田秘書役の一行は若干の京城管理局員を隨へ四五日頃出發南行し先づ京釜線湖南線の運輸經營狀況を視察し轉じて京元線を視閲し更に北行して京義線兼二浦寺洞平南各支線をも巡視すべし

○京城管理局長

横井氏就任事情

滿鐵理事の就任すべき同社京城管理局長は昨報の如く汽車課長横井實郎氏三十一日附を以て命ぜられしが横井氏は現京城管理局員中第二席の地位にあり然れども首席の小城建設課長は夙に病を獲て郷里鹿兒島縣に歸省し退任の意ありと云へば自然横井氏にお鉢は廻りたるものならんも氏は政府の任命する正位の滿鐵理事に非ず唯政府にて新任理事の詮衡に若干の時日を要するものあるため當分の意味にて滿鐵は横井氏に局長事務取扱を命じたるもの丶如きに付何れ必然來るべき政府の理事任命に際し横井氏が其の選に入るか若くば外部より新理事を移入し來るべきかは目下の所豫測し難き所なり唯横井氏は資性温厚圓滿にして德望ある人に付同氏の局長就任に對する内外の氣受けは頗る良好なり

○全南警務部長

七月二十八日附辭令を以て左の通り任命發表ありたり

陸軍憲兵中佐 朝鮮憲兵隊司令部附 藤田耕一
光州憲兵隊附を命ず
全羅南道警務部長を命ず

總督府事務官より拓殖局書記官に榮轉せる 入江海平氏

○大屋博士出發

前鐵道局長官工學博士大屋權平氏は一日午後七時五十分南大門驛發列車にて出發東上し姑らく滯京の後二宮の別莊に市塵を避くべしと

○秋山參事官歸期

東上中なりし總督府參事官秋山雅之介氏は二日午後九時南大門驛著汽車にて歸任の旨其の筋に通知ありたり

○入江書記官出發

總督府理財課長より新たに拓殖局書記官に榮轉したる入江海平氏は辭令に接するや七月三十一日夜單身急遽出發赴任したり

○閔氏釋王寺行

李王職長官子爵閔丙奭氏は隨員十一名と共に一日午前九時二十分南大門驛發列車にて釋王寺に向へり

○全南長官出張

全羅南道長官宮木又七氏は地方行政事務視察の爲め二十八日附を以て岡山、廣島、埼玉及び群馬の各縣に出張を命ぜられたり氏は八月上旬出發の筈なり

○德永博士北行

入京中なりし德永工學博士は三十一日南大門驛發奉天に向へり

○牧山代議士歸京

臨時議會に出席の爲め東上中の代議士牧山耕藏氏は一日午後九時南大門著の列車にて歸京すべし

○持地長官嚴父逝去

遞信局長官持地六三郎氏は目下南鮮地方管内に於ける遞信事務視察中の處二十九日嚴父病氣のため逝去の訃報に接し二日歸任翌三日急遽郷里福島に向け出發の筈

○京城局の改制

從來京城郵便局所屬掛は郵便、電信、電話、工務、庶務、會計の六掛にして各之に掛長を置き事務を分擔せしめ來りしが郵便掛の事務のみにても郵便、小包郵便及び爲替貯金並に附帶各種の事務近年著しく增進膨脹し且つ郵便掛長は掛長の事務の外に出納官吏の職責を帶び其の出納取扱びに係る現金は一箇年七千萬圓の巨額に達し到底一人の掛長を以て能く充分に其の兩事務の成績を舉げしむること能はざるに到りしが故に今回郵便掛より爲替貯金並に現金出納に關する事務を分離し新に一掛として爲替貯金掛なるものを設け該掛長をして出納官吏の職を兼ねしめ八月一日より實施の事となり掛長には從來監督掛員たりし遞信書記島村正平氏に內定せりと

○慶南道長官出張

慶尚南道長官佐々木藤太郎氏は蔚山大清水利組合工事落成式に臨席の爲め三十日午後七時著列車にて來釜大池旅館に一泊し翌三十一日午前十二時發列車にて蔚山に赴き同落成式に臨み同夜歸釜せり（釜山）

○廣田釜中校長歸郷

公立釜山中學校長廣田直三郎氏は三十日午前同校職員の出校を求め告別式を行ひ同夜出港連絡船新羅丸にて家族引連れ郷里福岡に歸郷したり（釜山）

人事消息

▲水越幸一氏（總督府事務官）三十一日夜入京巴城館へ
▲永野鐵路管理局長 [illegible]三十一日夜郷里大分縣へ
▲金子園三氏（歩兵第[illegible]旅團副官）同（一日退京）
▲小曾元司氏（慶南道久原鑛業所長）一日入京 京山本旅館へ
▲村地卓爾氏（元山府尹）一日退京
▲竹內道氏（江原道技師）同上
▲首田房氏（[illegible]所長）一日入京

朝鮮鐵道の母

大屋權平氏の事

○滿鮮鐵道の統一實施とともに退官して思出多い京城を東京に向つて去らんとする前鐵道局長官工學博士大屋權平氏は朝鮮鐵道の母と稱して差支へない氏が今回鮮鐵を去に際し「予は十年以來育てて來た自分の愛兒に別るるやうに辛い」と云つたのは其の私情より見れば素より然うであらう、繰返して云ふ實に氏は鮮鐵の母である

○現鮮鐵の延長哩程一千零七哩中京義線と京仁線の創設には與つてゐないけれど右兩線の大改良工事並に其他の各線は全部氏の統督の下に建設され改良され順次大成して今日に至つたのである

◎氏が朝鮮の鐵道に關係を有つたのは明治三十七年二月十日鐵道院工務部長と云ふ要職を休職となり、工事中であつた京釜鐵道速成の大責任を双肩に荷ひ同鐵道の工事長として韓國に渡つたのが抑々第一歩である、明治三十七年二月と云へば恰度日露戰爭の初つぱなである、而して京釜線の速成の成功と否とは吾が皇軍の作戰上頗る重大關係があつたのである、氏は此時鐵道院時代より統率してゐた技師岡村久能稻垣氏等を督勵して事に當らした

○然も氏の最も苦心したのは恰も戰時であるため工事輸送用船舶不足を告げ時としては其の航海中擊沈拿獲若くば坐礁の厄に遭遇した事があり工事施行上材料の輸送運搬困難にあつた、之れがために不眠不休諸種の計畫に當つた事は決して珍らしくない、京釜線は氏等の苦心の結果、遂に豫定の如く同年末全線に列車を運轉せしめ、吾が國民の人意を大いに強からしめた

○氏は其の任務を終つて三十八年内地に歸還し、三十九年七月統監府鐵道局が出來ると、氏は總務部長兼工務部長として再び朝鮮の人となつたが、翌四十年の六月古市公威長官に更つて鮮鐵首腦者となり以來十餘年の星霜を經今日に及んでゐる

◎氏は朝鮮の鐵道を官設と私設とを問はず三千五百哩に延長しなくちや十分でないと云ふ意見を有て肥著に語つた事がある、隨つて氏は其の理想に向つて歩を進めてゐたらしい、又其の日を一日も早からしむるやう努力してゐたらしい、鮮鐵三千五百哩は今日ではまだ夢想を含して漸く一千一百哩弱で、また氏の理想の三分の一にも達しない、氏が今回の退官を自分の子と永別するやうに辛いと云つたのは鮮鐵三千五百哩の實現の日を見ずに去り行く遺憾も幾分か含んでゐるのであらう

○氏は殆んど道樂がない、又趣味もない、交際を嫌つた、若し之れありとすれば仕事を樂しみとする事である、故に其の執務振りは尋常一樣でなく極度の熱心を以て事に當り計畫の進行に就ては晝夜を分たなかつた、又苟くも業務の用を辨ずるには朝の早き事並に夜の遲き事を論じない

○それは常に口にした『鐵道に身を委するものは晝夜の別はないものである』と云ふ言葉でも知る事が出來る、然も此の主義を終始一貫したのは其の無道樂無趣味に職由する所少なしとしない、何となれば執務時間外何時部下が氏を訪問するも常に在宅してゐたからである

○又計畫の緻密と云ふ事は其の主義の一であつた、而して此の主義は一方に於ては下僚の業務上の思想の訓練と同時に一方に於ては下僚の業務執行を容易ならしむる事を得た

○何故と云ふに氏は總ての計畫に決して漫然たる立案を許さず必らず數理を根本とした、凡そ何の業務も綜計數理は頗る大切のものだが鐵道の經營程數理の必要なものはなく殆んど總ての計畫は數理を根據としてゐる、尤も數理を根據とする計畫の立案は手數を要する事は勿論であるが其の趣旨は鮮明であるから立案者は案文に就て惑ふ事を要せないのである、若し上長の判斷が數理に據る事少なく抽象的ならんか、問題に際する毎に下僚の苦慮は少なくないであらう、而して此の種の苦慮は下僚の手腕を組織的に萎縮せしむるものであるまい

◎氏の主義如斯なりし結果部下よりする立案に對し其の缺點を見出し其の是正を命ずる事は實に適切で數理的で此點に於て部下は[illegible]加減な提案は絕對に出來ない、其の鐵道技術に對する識見と眼識は實に優れたものであつた、又部下を開發すると云ふ事に意を用ふるのも常でない、適當の問題があれば之に就て部下をして百方攻究せしめた其の効果は此の方法によりて得る所少なからざりし事を感銘してゐる次第少からざるに觀るも明らかであらう

○氏は實に好個の鐵道局長官であつた、鮮鐵一萬の局員はこれから新らしい境地に入つて行く自己の立場を喜ぶと共に、此の好長官の離任を悲しんでゐる（一記者）

局長室に於ける滿鐵京城管理局長 前鮮鐵勅任技師 横井實郎氏

◇横井新滿鐵京城管理局長と語る
―曰く『僕が局長になつても何も大した事はない』―

新滿鐵京城管理局長横井實郎氏を樓上局長室に訪ふ、同席に國澤理事長もあり、横井氏は語る、僕が局長になつても何も大した事はない、何しろ僕は御承知の如く訥辯で

▽部内部外 共に甚だ危なかしく思つてゐるやうだ、或人は僕の口の利き方を評して徳利の口から水を出すやうだと云つた、何故かと聞ひたら『出にくいから』だそうだ、然し現に三十一日には前後四回の挨拶をし得たので

▽自ら省みて必らずしも悲觀を要しないかとも思ふ、鮮鐵の經營に關しては目下僕に何等特別の抱負として語るべきものはない、唯大にしては中央政府の意のある所を體し朝鮮總督府の監督を受け滿鐵本社の指揮命令により鐵道事務を執つて行く積りである、從つて其の結果改良を要すべき事は

▽着々改良し施設を急とする事は又事情の許す限り之れを行ひたいと思つてゐる、思つてゐるばかりでなく昨日總督代理山縣政務總監並に茲に御同席の國澤理事長にも其の旨を固く誓つた次第である、早速の問題の局員の服ですか、吾々初め皆から平の洋服に變へてゐる

今各課を巡視して來たが唯一人官服を著てゐる人があつた、制帽は大分あるけれどこれは持ち合せがなかつたのであらう、と云ふ、すると少し先にゐた稻垣工務課長が態々立つて僕は昨日歸宅すると直ぐ星や筋をとつて此の通りに平服にしたと笑ふ

▽官服を脱いで氣樂だらうと云へば、傍らより國澤理事長は『官服は脱いでもコレからは心の内に官服を著て事務を執らねばならぬ責任は一層重く爲たのです』と語る

◉腕の力 波を切つて
仁川商業專修學校水練部の遠泳

仁川商業專修學校水練部の遠泳は既報の如く三十一日午後二時より行はれたり

▽第一班は 稻田先登となり新谷、茂田、中村勇、南方、稻葉、古賀、中村晃、古木、青山、森澤、第二班は河内先登となり福尾、野口、井平、梶原、美濃谷、黑田、原田、山口、福田、佐々木及び早稻田大學生田中此れに續き何れも

▽隊伍整々として紊れず水練師範押方氏は縱隊の前後を自由自在に游泳して之れを指揮し相原教諭も又自ら第二班に加つて終始生徒を勵まし警しめつ波を切つて進みたり斯くて

▽三十分餘の後海水浴場より朝新京日報社々旗及び三巴仲買等の旗を樹て萬船飾を施したる舟數艘音樂隊を先登にして遠泳隊を迎ふれば劉喨たる樂の音は躍るが如く激するが如く海上を壓して逸る

▽健兒の胸に轟き、大いに士氣を皷舞し泳ぎの手も輕かに流石の逆潮も難無く乘切る事を得たり時に午後三時半二十町の猫島月尾島間を約一時間にして遠泳の目的を達したる二十餘名の健兒は

▽意氣昂然として萬歳聲裡に上陸する事を得たるが見返れば猫岬あたり白き鷗の飛び交ひて今日の成功を祝ぐ者の如く、波遙かに立騷いで此の壯擧を讃稱ふるにも似たり堀内田中兩書記を隨へて猫島より警護船に搭したる

▽梶野府尹曰く始め二分の一哩位の海上では殆んど覺束ない樣な感がしたが暫すると隊形も整ふて仲々見事の者であつた何分仁川の海は潮流の變化が激しくて順潮に乘つたかと思へば逆潮を喰ろふと言ふ有樣だから遠泳も仲々困難であつたら然るに

▽只二名の落伍者だけで其の餘の生徒は餘裕綽々として目地に達したのは實に豫期以上の成績であつた(仁川)

●明治天皇祭遙拜式(平壤) 平壤神社に於ては三十日午前十時より同社拜殿に於て明治天皇祭遙拜式を擧行し……寺島聯隊長前田地方法院長篠田一部長湖警務部長田中高等普通學校長福永土木部長七十……境内に於て中隊長より平壤神社の由來及び明治天皇御聖德の訓話を受け……

……ざれども府當局は本年度に於て細部の實地調査及び設計を完了すべく來る八月下旬より着手の筈なりと而し……

●連絡船上陸客 三十一日午前……

◉三度び自殺を謀りて遂に轢死を遂ぐ
内地人の醫學生=原因判明せず

七月三十一日午前五時十六分頃高陽郡龍江面孔德里南端京義線の踏切り附近に年若き内地人男の轢死體あるを龍山保線係の中村忠藏が發見し急報に依り京城分隊孔德里出張所より憲兵出張檢視せり

▲身元の取調べの結果死者は埼玉縣北葛飾郡幸杉村京城泉町鐵道官舍居住の濱田武雄(一八)と判明せり屍體は右脚を大腿部より切斷されて七間計り撥ね飛ばされ頭部顏面頭部等を粉碎されて即死を遂げ居り少し離れて下駄、帽紗、手帳及び自分の寫眞一枚以前通學したりと思しき朝鮮總督府藥學講習所在學證書一枚『濱田武雄』と明記せる名刺一枚小刀等あり夫れに立花千代子宛ての封筒遺書一通あり是等の

▲事情より精査するに同人は前日迄市内南山町一丁目松岡醫院に雇はれゐたるものにて豫て自分より解雇方を申込み居り適當なる後任者ありたるより三十日限り同家を引取りたる儘家出して行衞不明となりたるものにて遂に前記の如き覺悟の自殺を企てしものの如く屍體は取敢へず實父が引取れり自殺の原因に就いては複雜せる事情あるものの如く詳細は不明なるも同人は以前内地にても一回自殺を企てしことあり尚本年四月十六日頃にも

▲劇藥を仰ぎて自殺を企て應急手當を受けて一命を取止めたることありと言へば此回も何等か事情の爲め決意して此の始末に及びたるらしく因みに現場に殘しありたる遺書の名宛人立花千代子(一七)は目下總督府醫院に看護婦として勤め居れる由にて同女も以前松岡醫院に勤めゐたりといふ其の遺書の全文左の如し

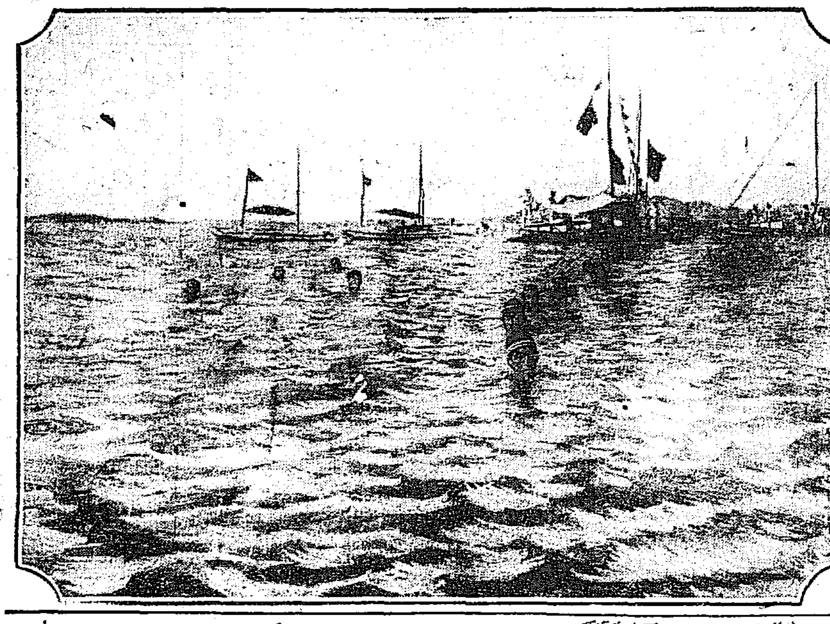
立花さん貴女も一度ならず二度迄も斯んな手紙を受取つてはさぞ〳〵苦しい事と思召すでせう許して下さい僕は貴女を親切なる人と思へばこそこんな御面倒を掛けるのです全く親を捨てゝおいて貴女に直接にこんな事をおかすも皆貴女の親切に中毒したものと思ひ下さい今後は此の世が厭になつて死の途に立つべく墺海公園の涼み臺の上で認めました全く幼時に母を失つた人間は不幸です母にも恨みはあるが松岡さんにも多大な恨があるです(中略)事實金目を取扱つてゐた僕であるましてや松岡さんも常識を備へた人間ならば少しは考へねばならぬ所もあらう七月三十日濱田武雄=更に項を改めて(中略)貴女の御身は丈夫ですか僕は全く絕望です立花さん御身を眞の姉上と思へばこそいろ〳〵申上げたのです僕の身をお推察下さい云々 立花千代子様

□八月一日温度 華氏九十五度二分(午後三時京城測候所發表) ―昨日最高溫度九十七度九分―

◉酷暑繼續せん
▽今年は京城測候所創立以來の新レコード

京城に於ける三十一日の最高暑さは攝氏卅六度六(華氏九十八度)を示したり八月一日午後一時三十六度を示したり斯の如き暑さは京城測候所創立以來の新レコードにして猶茲當分の間は此の暑さ繼續すべしと

♣長距離游泳競爭


商業專修學校選手仁川海水浴場到著の光景

●露國婦人決死隊逆襲
第一線に於ける死傷者百五十名

ゼネヴア來電に依れば露國婦人決死隊はガリシヤ附近にて墺軍に逆襲を試み奮闘したり又露國女軍の第一線に於ける戰死者二十名負傷百三十名にして敵軍の俘虜となりたるもの八名なり(倫敦電報)

●兩軍娘子軍の會戰
獨軍も盛んに婦人軍を使用す

獨軍も近來盛んに娘子軍を使用し居れるが戰線に於て偶然露國娘子軍と戰し露軍は八名捕虜となり獨軍側も亦數名の捕虜を出せり(路透電報)

●西比利亞大洪水
西比利亞ブヌゴヂエンスクに大洪水あり被害多く住民の救助を受けたるもの五千に及べり(大阪特電)

●音羽艦排水絶望
大王岬にて坐礁せし音羽艦は艦首著しく沈下し甲板浸水排水作業絶望となれり(大阪特電)

●加賀前代議士禁錮三年に處さる
前代議士加賀卯之吉氏選擧違反事件は三十一日禁錮三年の判決言渡しあり同氏は直ちに控訴したり(大阪特電)

●神戸用水缺乏
神戸にては連日の旱天にて水道用水缺乏を來したる爲め去月二十七日以來炊事用の外水道水を送らざる事と

なりたるを以て各工場は大恐慌を來し居れるが今後猶ほ降雨なくば各工業は休止の外なからん(大阪特電)

●長崎縣立病院疑獄事件擴大
長崎縣立病院疑獄事件擴大し高谷庶務課長書記收賄罪にて拘引森川藥劑部長等も取調べ中なり(大阪特電)

海水浴潮時早見
三日滿潮 午後五時二十九分
四日滿潮 午後六時十一分

●長江筋大洪水
去月二十五日來、數日間長江筋に大洪水あり宜昌、沙市は市街に浸水し爲に人畜の死傷あり日本人は目下のところ損害なしとの報あり(東京特電)

●大阪物價騰貴
大阪市中は物價日毎に騰貴しつゝあり(大阪特電)

●賃金五割値上
東淸鐵道は旅客賃金を五割値上げせり(長春特電)

●火藥庫爆發
三十一日午後久留米市姫花商比田丁次方の火藥庫爆發し一名即死し一名重傷を負へり(大阪特電)

讀者文藝
△締め切

○植木鉢と如露(一等) 京城 金太郎

▲佳作 大田青葉生、鳥致院拔天生、京城六日月生、京城六葉生、京城稻子生、公州パクテリヤ生、長湍民永湖、龍山紫山生、釜山西村天涯、忠州山夫子、京城國友生、元山内村八溪生、太田中村生

▲次回題 上圖の通り

▲商况=四面にあり

【讀者文藝】課題及募集規定 ……

株式會社百三十銀行 第卅八期營業報告
貸借對照表

資産	金額
一諸貸出金	四六、九四六、四四〇、三八〇
一他店へ貸(一九ヶ所)	三、〇四四、六〇四、八一〇
一仕拂承諾見返	一、六八〇、〇〇〇、〇〇〇
一預ケ金	七、八五六、二九〇
一有價證券	七、三〇八、三〇〇、〇〇〇
一營業用土地建物什器	八九七、一八一、六〇七
一所有動産不動産	六六、二二八、〇〇〇
一雜勘定	八三、六三七、四一〇
一現金有高	五、五九二、五九五、三六八
合計	六五、三六五、八〇七、六四五
負債	金額
一資本金	五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
一法定準備金	三〇一、〇〇〇、〇〇〇
一諸預リ金	五二、一七二、八三六、八二五
一仕拂送金爲替手形	一九〇、〇〇八、三一〇
一他店ヨリ借(二〇ヶ所)	五、三一三、六七〇、九九〇
一仕拂承諾	一、六八〇、〇〇〇、〇〇〇
一未拂配當金	四、三六六、二二〇
一未拂利息及未經過割引料	五九二、〇九九、六〇〇
一當期純益金	四〇三、八二三、六〇〇
合計	六五、三六五、八〇七、六四五

○利益金勘定

金四拾萬參千八百九拾參圓六拾六錢 當期純益金及前期繰越金

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

金五萬圓 法定準備金
金五萬圓 配當準備積立金
金壹萬圓 役員賞與金及交際費
金貳拾貳萬五千圓 配當金(年九分)
金六萬八千八百拾參圓六拾六錢 後期繰越金

大正六年七月 株式會社百三十銀行

取締役頭取 安田善三郎
取締役副頭取 高橋長秋
取締役 小川爲次郎
取締役 小西又助
取締役 森本清兵衛
取締役 右近爲和作
營業部長 大藤脇三郎
監査役 森茂
監査役 河村七
監査役 渡邊清至
監査役 籔田岩松
監督 安田善次郎

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と丁寧を旨とし御需要に可應候 京城日報社寫眞製版部

事務所新築中左記の處に假移轉仕候 京城南山町三丁目十二番地(第一銀行筋) 日本公債株式會社朝鮮支部 電話長一六〇二番

◉營林廠拂下 ◉特種原木 紅松、杉松、其他多數持合せあり 製材の上又は原木の儘廉價賣却す 京城岡崎町 清水製材所 電話龍山五十三番 振替京城四一九番 京城明治町 北方支店 電話一九四〇番

政治的朝鮮史出づ
朝鮮研究會主幹 京城新聞社長 青柳南冥論著

朝鮮四千年史 全
◉菊版金クロース◉一千頁◉史蹟寫眞銅版五十個挾入◉定價金四圓◉特價金三圓五十錢

著者本書に自序して曰

▲日韓併合は日韓政治的復古にして其歴史は即ち大日本帝國の一部の歴史と爲れり左れば日鮮人は何人にても既往一貫せる朝鮮史を了解せざる可からざる必要に迫られたり

▲前韓の歴史は誤謬と僞作多し著者は特に日鮮關係の淫來蹉跌改作せられたるものを收拾して日鮮同族同根の史實を闡明し新羅王國は日本人の建設したるものにて任那は官國の首露王は日本の皇族たることを論じ一面唐宋以來支那政治家及び文士が前韓の歴史地理を改作僞造せるを喝破して其例證を擧げ來り滿洲は曾て我高句麗高氏の舊領なるを明かにせり

▲朝鮮史の編纂は方今時代の要求也日鮮關係の史實を闡明して兩民族の精神的融合を達成するは我學界の一大任務にして又現今我政治上の意義に於て特に其然るものあるを見る而も是れ燃犀なる史眼と精細なる史筆を做はざる可からず豈一介の書生青柳南冥の任ならんや而も世の學者政治家物質に拘泥して精神的事業を度外視し現代鮮民思想の過渡期を閑却して越人の秦人の肥瘠を見るが如し是れ余が慷慨本書を編著せし所以也

▲本著は學者の歴史に非ず又歴史家の歴史にも非ず世の腐儒と興國的の民の氣魄無き史家は余の嫌厭措かざる所のもの也余は市井の野史一介の操觚者也故に世の學者の歴史に比較し放膽なる斷定に失せる嫌ひ傍若無人の識は免かれ難かるべし然れども朝鮮現時の思潮を憂慮せる熱誠慷慨の餘弊として余の歴史は世の學者歴史家に一歩も讓るものに非ず

▲本著は朝鮮四千年史と云ふも其實は二千年史也檀君箕子の朝鮮は漠として三韓の歴史は雲を攫むが如し、史家の之を史上に捕捉することを得るものゝ蓋し新羅建國以後にあり、支那に於てすら支那人は四千年以前より書籍ありと云へるも年代の釋ぬ可ものは二千八百餘年に過ぎず春秋に依るも二千五百年前の事を僅かに知り得らるゝのみ、然るに余が朝鮮史を四千年と題名したるは上古神代の口碑傳説を放棄するなく韓史の四千年説を其儘採用したれば也

▲日本の二千五百年史は神武天皇即位以後の歴史にして上古神代は束ねて之を筑紫の海に投せり之れ史家の史眼が普契以前の史實を映寫し能はざれは也然れども神代の口碑傳説は日本も尚四千年の歴史を有せることを朝鮮と同樣也

▲日韓一家の史實を歴史に求め日鮮同化の利益を世界の大勢より説かんとするは大正の現代に於ける時代遲れ也と評するの識者あり是れ半可通の政治家の痩我慢也一千五百萬大多數の鮮民の思想は大正の現代より一歩も二歩も三歩も遲れたり而して兩民族同化に於て肝要なる一點の理解されざるものあるを忘る可からず

鮮人法學士李範昇君は實に左の如く言へり(以下略す)

京城黄金町二丁目 朝鮮研究會出版部 電話一九三〇番 振替口座京城三七六五番

天氣 は 晴れ時々曇り ▲八月二日……

少年配達
▽志願者が中々多い
【京城局で二十五人が活動してゐる】

一體郵便局には本官の奏判任以外に雇員と傭人とがある。京城局では本官が館長も奏判任官九十九人、雇員三百十一人、傭人三百二十六人、合計七百三十五人の定員でざつと平時編成の一個大隊程の人員がゐる。

◆局內雇員といふのは通信事務員、工手、巡視電話交換手で、傭人に屬する階級は電信配達、郵便集配遞送人、郵便取扱者「工夫」職工等がソレである。今コヽに主として其の生活狀態に就て紹介しようとするのは本官以外の雇人及び雇員の收入其他勤務振りに就てゞある、郵便集配人に、郵便を市中のポストから取集めたり配つたりする俗に云ふ郵便屋さんの事である。

◆日給は京城局で六十五錢以上十年も勤續する者になると一圓十何錢位迄の給與を受けてゐる。尤も傭人は其の半額である。集配人は此の外に休みさへしなければ勤勉加給といふものが一箇月一圓以上五六圓も付く上に夏冬の制服及び附屬品が渡るから却て日給六七十錢の雇員杯より比較的裕福である。電信配達も同樣の給與を受けて是には傭人配達がゐない代りに少年配達といふものがある少年配達は滿十三歲以上十六歲未滿であるが日給は約普通配達人の半額である

◆普通の郵便集配人及び電信配達は滿十六歲以上五十歲以下のもので尋常小學校を卒業したものなら不健康者ならざる限り大抵は採用になるが此の集配人や配達人は別に募集しなくつても志願者は中々多いとの事である因に京城局の郵便集配人は六十一名（內鮮人十名）電信配達人三十二名の定員である郵便夫といふのは目下京城局に二十七人ゐる是は郵便の行嚢を結いたり郵便車に積込んだり又は

◆吏員と共に列車へ乘込んで郵便を護送する役目であるが、日給は行嚢馬車の馭者と同じく郵便配達と似たり寄つたりである。工夫と職工は日給六十五錢以上一圓二三十錢の者がゐる京城局には工夫と職工で四十名、職工十一名任用してゐる。工夫といふのは電信電話の工事夫で、職工といふのは工夫とか木工とかである。巡視は服裝であるが同じ雇員の通信事務員は私服であるが巡視は制服制帽外套を給與される

◆通信事務員は本官と殆ど同じ事務を執つてゐるが、巡視は守衛とか看守とかの役目に從事してゐる。巡視は中學三年位の課程を修へし位の者から採用し通信事務員は雇員試驗に及第したものから採用する。

水泳に熱心な英國の婦人

遠き祖先の御教に從ひ英國では婦人の水泳が盛んでありまして若い時の泳ぎの覺わがないと云ふ婦人は殆んどない位で

◇今日七八歲から五十恰好の婦人は殘らず泳ぎの出來る人達で御座います水泳の盛になりましたのは三四十年前から俄に社會の各方面に唱道せられた結果でありまして其以前は大層衰微してゐたさうですが英國人の祖先は

◇北歐の水に親しみ深い人種であつたのだから男子は勿論婦人も亦水に親しまなければならぬと云ふ理由に基いてゐるのです同國の都市に於きましては區立又は町立の公設屋內水泳場がありまして夏なれば毎日冬でも日を定めて

◇水の溫度を調節し居の宵くならぬ程度の水中で自由に泳がせるやうにして御座います設備の完全してゐる事は申すまでもありませんが傾斜板の如きは絕ねずチヨロ〳〵板上に水を流してあつて泳ぎ手は列を作つて板の上を辷りながら下ります愈よ

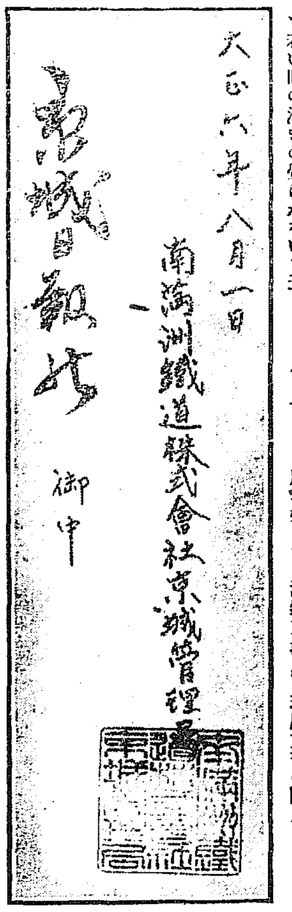
◇板の下端に行きますと橫に或は倒に見事な飛込をする者も御座います海や川に臨んで設けられた水泳場では婦人の爲めにトンネル樣の設備が出來てゐまして肌に喰付いた現代風の水泳服を著けたり或は裙の開いた

◇古代風の物を著たり好み〳〵の帽子を被つたりして勇しくトンネルを拔けて水に行くので是等の人々の水を泳ぐのは若しかの場合水に溺れぬ要心とか又は夫を艤其他

◇特別の目的の爲にするのではありません先づ四肢を始め全身の各關節の働きを十分にし筋肉の發達を良くするのが主なるものであります彼の國の人々の體育上の考への進んでゐる事は此一事でも知れるので御座います（某女流教育家談）

諸の砂

■勇敢な遞夫　愛媛縣喜多郡內子郵便局遞送人堀內○吉は六月、日夜喜多郡大洲村で郵賊に襲はれ傷を受けながら郵便物を無事ならしめた功績に依つて此の間遞信大臣から褒狀と賞金とを下附された


京城日報　御中
大正六年八月一日
南滿洲鐵道株式會社京城管理局

■八月一日より用ゐ始めたる滿鐵京城管理局文書の斷片

◇◇大和アルプス（一）
大臺原紀行

◆海拔六千二百尺大和紀伊伊勢の三箇國に跨がり絶頂に東西二里南北三里の大高原をなしてゐる大和アルプス大臺ケ原では八月三日から十日間吉野郡の主催で森林植物昆蟲地質等の諸專門大家を招聘し講演會を開催する事となつた、かうした計畫が發表されると紳士學生を始め知識階級の申込みが多い

×××××××××

◆西は巍嶇たる大峰の險峻と相對し、東南は遙かに重疊たる南紀の山嶽と連り、羊腸たる樵路白雲に掩はれ、人跡を距る甚だ遠く山靈神秘に閉されたる大臺ケ原は、神武以來幾ばくの足跡をも容れてゐない、遠く我開國の時に當り天孫人種は東征の途を起し獨木船に乘じて大瀨戸小瀨戸の內海を乘切り日向より津の國に著た、神武帝はこの時に內より大和に入らんとして孔舍衛坂に土賊と戰ひ利あらず皇兄五瀨命を亡ひ給ひ、日に向つて戈を舞すの罪なりとし海路紀南より熊野路を取り荊棘を分けて進まれた、その行途に大和アルプス大臺ケ原は巍然として聳ね横はつてゐた。

◆谷を渡り嶺を越ゆるに隨つて行途は益々困難である、太古以來曾て人跡を容れざる深林帶に入つては八咫烏か金色の靈鵄に導かれるより外はなかつた、次第に深く入つて桑木谷より神見峠に登られ遙かに熊野灘の巨浪をみそなはし顧みて崇高秀逸なる大臺山を望み四方を瞰るべき山ぞと仰せられた、頂點に到つては近畿の山々一眸に集り爰に建國の謀を議せられた、國見岳の古名は是によつて發してゐる。

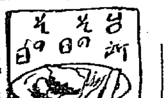
◆蓋し大臺ケ原は大平原の轉訛で原を圍んで聳ゆる峻峰中日出ケ嶽は帝の日の御神を拜せられた處、天皇腰掛岩は牛の形をなし牛石ケ原の稱がある、御手をそゝがられた御手洗池も共處に記念せられてゐる。

◆神武東征の途爰に路をとり給ひし以來再び太古の寂境に還り山靈秘の領する所となつたが、降つて平安朝の頃天臺の僧丹誠上人なるもの空海澄の例に倣ひ靈場開基の志を抱き山幽谷を探り爰に到つて錫を止め、戸川山葵谷川逆川の流れ裾を巡る處、木を伐り草を分け地を拓いて草堂を營み海內一の靈場たらしめんと企てた。

◆高野谷を溯つた處、國見臺、大臺見、如來月など、稱する地は皆上人が理想の形見である、然かも上人は學堂に病んだ、藥餌をとるものはない、怪鳥啼いて萬仭の谿谷より吹來る冷風法燈に迫るばかり、遂に起つべからざるを覺り逆川の上流伯母ケ岳に至る逆さ鯱峯の尾の山中に朝夕誦した經卷と宿望空しくなれる次第を認めたるとを壇に納めて永眠し雄闍空しく雲煙の裡に埋もれた、經塚はそれである。

◆聖人の傳說に義經の乘捨てた駒が何ほ生殘つてゐると云ふ、見たものはない、しかし大臺ケ原には義經の遺跡がある、文治の昔、兄賴朝の疑を受け運拙く京を落ち西海に逃れんとして大物ケ浦の颶風に會し轉じて吉野山に入つた、義經は爰にも長身を置き兼ね大和天の川より十津川に迷ひ入り熊野に出で伊勢路へ入らんとして大臺ケ原に踏み迷ふた

台所　その日その日



▲茨隱元と茄子の胡麻浸し　茨隱元は筋を取り水洗ひし一寸五分位の長さに切り更に横に薄く小口切りと一沸立つ湯に入れ鹽小匙一杯乃至二杯程を加へ（鹽味の稍く付く位）にて茹でます軟かになつたならば笊にあげ水氣を切りおき茄子も一寸五分位の長さに切り二分厚さ位に細長い形に切り少時水につけ灰汁出しをしてから沸立つた湯に入れ之れにも鹽小匙を加へて茹でます軟かになつたならば笊にあげ隱元茄子共に程よく搾つて一所に交ぜ醬油をかけ少時おいてから又さつと搾り此度は鰹節の出汁醬油を等分の合せ醬油をかけ能く混ぜてからほんのざつと搾つて小丼鉢のものにこんもりと盛り黑胡麻を炒つたのをふりかけて用ひます

■母子三人燒死　岐阜縣山縣郡富岡村農櫻井菊三郎方では二十八日夜行燈の火が蚊帳に燃えついて大事に及び妻すゐの（二四）長男第一（四つ）次男清助（一つ）の三名は家諸共に無慘の燒死をなし菊三郎は其の爲め發狂した

■橘中佐の銅像　日露戰爭で名譽の戰死を遂げ陸軍の軍神と稱されてゐる故橘中佐の郷里長崎縣南高來郡千々石村に近く同中佐の銅像を建設するやうになつたそれは時の上官であつた奧元帥が主唱となり陸軍部內有力なる諸將の發起ださうな

■不義者の怪死　兵庫縣飾磨郡曽根村生れの友永巳之治（二五）は同村生れで神戸市北本町一丁目何村本齢吉の妻もと（三一）と隣家同士のことゝて關係を結び齡吉の不在中を名に衣類など盜み出して駈落ちをしたがもさには七つを頭に三人の子迄あるから未永く添はれぬことから合意の上情死することになり二十八日朝飾磨郡の村の松に縊りつけて屍體となつて發見された

■危險な自殺者　高知縣高岡郡高岡町生れの石元正信（一九）は墮落して自殺せんと他所から二十四日夜父の許なる香美郡片地村に歸り戻つて物部川の岸に蹲つてゐる內通りかゝつて優しい言葉を掛けて呉れた面識もない香美郡岸本町の井上代吉（二八）を日本刀で斬りつけて重傷を負はせたが冥途の道伴れにすべく此の兇行を働いたものださうな

■長命揃ひの一家　新潟縣中頸城郡上野村佐野おく（九〇）は六十年前に寡婦になり長女石原よれ（六八）次女袖木りん（六五）の二人の手で養はれてゐるが若い內には五尺二寸に十八貫もあつたといふ大女で今も尚壯健にしてゐて、毎日裁縫に餘念なしといふが同胞は悉く長壽者が多くかくの實兄藤原五郎は八十二歲姉佐和しなは九十三迄生きてゐたと

■不孝者を成敗　備前和氣郡伊部町和事務自國造（三八）は妻かよ（三一）が邑久郡行幸村フエ勝大倉藏太（三〇）と關係したのを憤り二十五日夜兩名が赤磐郡某村で密會中に躍り込み姦夫を斬りにし短刀を見失つたのでかよを蹴り倒してゐる所を捕はれた

淨瑠璃界

▲下の關から中津へ乘込んだ越路太夫一行は博多を經て長崎まで行くさうだ、九州では三枚目を語つてゐる源太夫の評判が好い▲東京の義太夫師匠の月謝は一等二十五圓、二等二十圓、四等十圓、五等五圓、六等三圓、七等二圓、八等一圓までである、この內で一等の月謝を拂つてゐるのは金天狗派の豐澤富助達位のもの、一番多いのは六等と七等、八等である、殊に八等天狗と來ては淺草、下谷、芝邊に掃くほどある▲それから惡くのは東京にゐる師匠の內で七分まで六等以下の月謝で我慢してゐる事だ。何しろ天狗連の數が多いだけ師匠の數が多いので年々月謝の相場は下落するばかり、關西あたりから行つて一部分の好い稽古場を見て來た人は東京は金が掛る、盛なものだと思ふだらうが是れがほんとの處の居、數へるほどしかない▲そう云へば東京にゐる師匠は稼業にならないやうだがそれで結構立つて行くから流石に大都會、東京でも淨瑠璃の師匠は未だ〳〵上の部で常盤津や淸元などと來ては全くお話にならないさうだ▲京城の稽古ならでは何處でも月謝何程と定つてゐる所は無いやうだ、連中のお顏次第で何程でも頂戴す、るしかし京城の一時月謝は東京の四等に當るやうだ

…參殿獻饌を爲し祓主祓詞を奏し次に松尾社掌祝詞を奏し本田府尹一頭に玉串奉獻拜禮を爲し工藤長官…たり當日歩兵第七十七聯隊の兵隊は各中隊長に引率せられて全部參拜し

…於ける大下水設計は豫算不成立の爲め遂に豫定の計畫を遂行する事能は…本年度に於て之を實行すれば既定年限內完了には結局些の遲延を見ざる事となるものなりと

…內堀久次郎、吉川…造　同
三等（二百八十二名）

同三日　同四日　同五日　同六日　同七日　同八日

一、投書…以內に纏め又は同案…五十錢…紙券を呈す…明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者欄

豫報

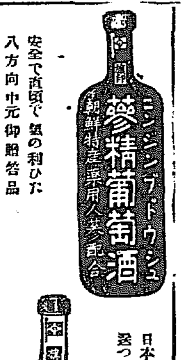
▲京城溫度

◆新時代の婦人雜誌を見よ◆

婦人公論

今の若い女の長所短所　七女學校長
▼女大學を脱せよ……本間久雄
▼婦人の自由解放と個人的修養　平塚明子
▼お嬰ごん敎育を排す　湯原元一
▼婦人の參政權問題　石川半山
■新聞社へ身の上相談に行く女　松崎天民
▼眼を涼しくする法…前田賢博士
▼最近流行の絞り染…植村まさ
▼新聞は如何に作らるゝか　小野瀬不二人
▼涼しいお料理五つ六つ　秋穂校長
時事畫報の挿畫數葉
■石鹸（良否を見分ける等）の話　近藤教授
本誌の最も誇りとする
■秘めたる戀　徳田秋聲
蹂躙られて　正宗白鳥
■春宵記　小山內薫
好評　三大長篇小說
愚かな女の手紙（神近市子）
現代女風俗其八（口繪）山村耕花
わが家の納涼法（三十四名士夫人筆談）
定價廿三錢　郵稅一錢半　振替東京三十四番　東京本郷西片町十番地　中央公論社

柳屋特製
乾海苔　味付海苔　燒海苔　海苔佃煮
夏でも御飯がおいしく頂ける
鰹節海苔商　東京日本橋通貳丁目　柳屋商店
振替東京壹貳七〇六番　電話本局六五二



安全で直頓で氣の利いた八方向中元御贈答品
日本や支那へ小包又は鐵道便で送つても牛打込は無税です

營業讓受廣告

拜呈拙者儀今般都合に依り營業全部並に權利一切を柿沼幸之助に讓渡し候間御承知相成度此段御案內申上候　敬白
京城南大門通り五丁目八番地
和田商會　和田欣次

謹啓時下酷暑の砌各位益々御淸祥の段大慶に奉存じ候陳者拙者儀今般和田欣次より營業全部並に權利一切を讓受け右記の場所に於て營業仕候に付ては一層奮勵努力を以て取引の敏活且つ誠實を旨とし御用命に可應候間何卒倍舊の御眷顧を賜度御挨拶を兼ね右奉願上候　敬具
大正六年八月一日

營業種目
牛馬毛製フエルト
土木建築用品
工業用品
鐵物及小金物類
器械附屬品

日本ウール工業株式會社代理店
京城黃金町三丁目百九十一番地角
和田商會
柿沼幸之助
長電話二六三一番　振替口座京城四二三二番　電略（ワダ）又（ワ）

農業世界

內容精選せる八月號（定價二十錢　郵稅一錢五厘）東京本町　博文館
■地方自治體を鞏固にせよ　後藤內相
△農家は持米を今こそ賣拂へ…黃城
△穀物貯法の新らしき試み…本誌記者
■農事を勵むは在鄉軍人の第一の務…堀內中將
△優良村と地方改良の協力者…本誌記者
△「鎮守の森」と「學生歸休會」…天野藤男
■秋蠶の飼育に就て　十屋教授
△秋大根の種蒔と手入…
△木材は漸く乏しくなる…
□疑問肥料石灰の研究　大工原博士
△馬鈴薯增收の一法…
△八月の花…池田次郎吉
□朝野土地經營成功物語　藤井寬太郎
△暑中の家畜衛生…
△ブラジル移民の實況…

難病者の福音

晩近醫療界の驚異たる哲理治療開始

本療法は健全哲學館大學長米國哲學博士鈴木美山先生の唱導せらるゝ處にして精神哲學の原理に則り藥劑を使用せず諸病一切を尤も安全に治療し得る最新設治療法である對症的一時逃れの療治でなく病源を斷滅せしむる根本療治法である藥物療治の如き危險もなければ又再發の憂もない精神的病癖でも肉體的疾患でも例へば腦神經衰弱胃腸病眼病脚氣リウマチス神經痛ヒステリー肋膜心臟病腎臟病耳鼻咽喉病中風症痔疾梅毒痳病精神病婦人病小兒病ども諸種の癌腫腫物其他一切の諸病どんな病でも治る事實は議論を沈默せしむる最上の武器にして論よりも確な證據不治の病に苦しむ人は是非一度御試しあれ
京城本町五丁目電車終點前泥橋前
京城健全哲學館療院
院長　哲學士　鈴木天聲

婦人畫報

□八月號
◎婦人の頭腦　文學博士　三宅雄二郎
◎家庭の平和を增す一法　法學博士　新渡戸稻造
◎婦人は如何なる讀み物を選ぶべきか　文部次官　田所美治
◎避暑に行かん人の銷夏法　山脇房子
◎母乳でも乳兒の脚氣　遠山博士
◎江戸の涼と御臺所の夏姿　戸川殘花
◎卅年間の女子敎育の變遷　河原一郎
（顧問用美人畫）避暑地にて　鏑木清方筆
◎東伏見宮兩殿下と山縣公御別邸
◎島津公爵邸に於ける久邇宮妃殿下
◎御庭前の賀陽宮妃殿下
長篇小說　須磨子…菊池幽芳作　鈴木淸方畫
◎花か實か　長谷川小波
◎美人傳　長谷川時雨
◎中流住宅　伊東博士
○涼しい献立　○八月歌かるた　○八月家庭日記　○挿花の手引
使の召仕込み方　岩倉子爵夫人　大倉男爵夫人　片山博士夫人　佐多博士夫人
○効力注射　○夏の平常着
東京京橋　振替東京四千九百番　東京社

魚釣具及投網卸小賣
□御申越し次第定價表進呈
□遊船御案內
京城永樂町二丁目　吉備商會
電話三一四番　振替京城四三二八

商況

東京公債直取引（一日）

五分利	九六、七〇
四分利	九六、五〇

深川正米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雑報

露貨復下落

（哈爾賓電）露貨は二十七日正金銀行賣二百八十八留民分銀同事件銀扱中止中なりしに次いで三十日復暴落し賣鮮銀二百九十五留となれり但し鮮銀は依然［illegible］不便のため大部分杜絶し居れるも雜貨及び綿紗類の輸出は尚々ながら［illegible］を以て行はれつゝあり

三品新甫發會

綿糸は月末高値の關係より新甫を迎へて反動を惹起すべしといふ觀測の半面には整理問題の前途解決は再び硬派の活動を誘起すべしと［illegible］新甫發會と共に更に局面を展開し結局六百圓臺を突破す［illegible］

一圓安を入れ豫測に反し米棉

新甫［illegible］十七圓九十五錢に［illegible］廿圓以上の暴落［illegible］

大連豆復暴騰

取引所は二十六日の休會明けに依然強硬なる氣分を示したるに引續き二十九日は現物［illegible］と强硬の成行を示し［illegible］復暴騰買手あれども賣手なしとの人氣［illegible］空前の高値［illegible］

鐵價更に暴騰

輸出制限の影響として彼我の鐵貿易は件甚だ面倒となりしのみならず［illegible］米政府の許可を出さゝる場合多ければ契約の取消し解除は［illegible］今後の輸入困難の趨勢は益々高く加ふるに本國に於ける鐵價の昂騰は連日昂騰を告げつゝあるを報じて本邦鐵材界の人氣を刺戟せる事甚しく各品殆ど循環的に價格の騰貴を［illegible］丸鐵［illegible］十五圓平［illegible］鐵十圓高［illegible］

亞鉛板突飛

［illegible］平板二十番四圓二十錢［illegible］浪板六尺三圓二十錢［illegible］

製靴こ皮革

［illegible］能く輸出を［illegible］尚需要充［illegible］

底物は俄然活氣附き

［illegible］ボックス及中［illegible］成立確［illegible］

夏大豆作柄

［illegible］今鮮内に於ける夏大豆は［illegible］收穫少［illegible］收穫豫想高十五六萬石［illegible］

京城正米

［illegible］

京城雜穀

［illegible］

南大門の廻穀

［illegible］

釜山穀物（廿日）

［illegible］

生魚市場

釜山水産市場（三十一日）［illegible］

仁川期米

▲一日前場（强硬）大阪天候晴 ［illegible］昨止より十五錢高［illegible］甫二十九丁上鞘の二十二圓九十一錢［illegible］入電［illegible］新甫十五錢上鞘の十九圓七十五錢と發會［illegible］大阪二節七十五錢と安移り［illegible］臨時入電に接し先七十一錢［illegible］强硬の成行［illegible］小變動の裡［illegible］

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町　ⓢ仲買店　電話長三六七・三六九

市場零聞

▲發會强硬［illegible］

當中順鞘

［illegible］順鞘に復活する［illegible］

先中薄鞘

［illegible］

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　ⓘ今村覺次郎　電話長三三七・三六八番

發會大商盛

［illegible］逆に一錢の薄鞘［illegible］人氣は稍買募［illegible］早魃の聲高［illegible］

新甫發會す

［illegible］軟派の主張［illegible］强氣筋の說［illegible］

仁川米豆取引所　一日の十月限

前場	平均値段
寄付	十九圓七十五錢
止め	十九圓七十六錢
高値	十九圓八十一錢
安値	十九圓七十四錢
出來	四萬六千二百五十石

一節	十九圓七十八錢
二節	十九圓七十七錢
三節	十九圓七十六錢
四節	十九圓七十七錢
五節	十九圓七十七錢

限	後場	前日と比較
八月限	一九、三八	一三七高
九月限	一九、五一	一五高
十月限	一九、三五	二九高
三十	一九、八二	二六高

賣買取組高　一萬七千九百石　三萬三千五十石

京城演藝案内

大正館　櫻井町　電話八七三　▲本日より特別大興行［illegible］▲大冒險大活劇「ヘレンの冒險記」全三卷［illegible］▲新派大悲劇「俠藝者」［illegible］

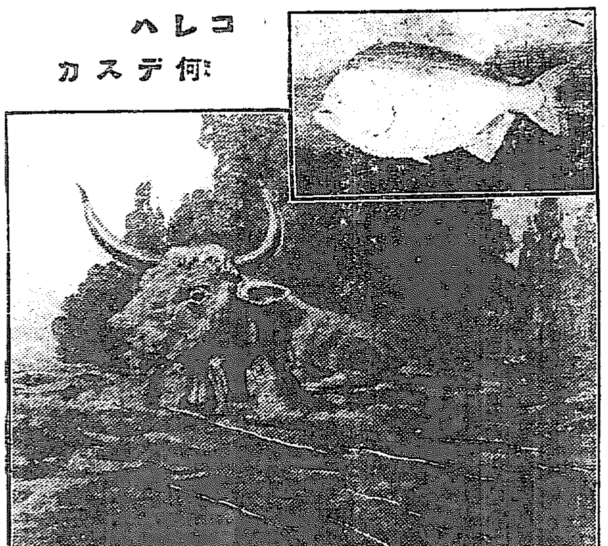
有樂館　早川演藝部直營活動寫眞常設館　電話（局下）二〇五番［illegible］▲滑稽「パイプ屋の危險」▲大活劇「大金鏃」［illegible］

壽座　京城壽町　電話五七八番　キネオラマ應用悲喜劇鬼笑會一行［illegible］

黄金館　電話二三六七　［illegible］

浪花館　明治町　電話二六〇　［illegible］▲落語［illegible］▲浪花節［illegible］

富の道しるべ　村上雅吉共著　京城日報社代理部



青年男女を醜くする　ニキビの話

◇ニキビは斯うして出來るもの
◇頑固なニキビ吹出物の治る藥

◇この寫眞に

示したのは、世界の大河で長さが一千四百里もある南米アマゾン河の淺瀬に澤山に住んでゐるペライこいふ獰惡な魚が、淺潮を渉る牛に噛附いた所です。此魚は大きさは僅か一、二尺程の魚のくせに、人間でも獸でも瞬く間に食つて終ふ恐しい奴で、此魚に噛附かれたが最期、流石の大牛も、僅か幅三四十尺の所を渉りきらない間に、重傷に堪へず斃れて終ひます。人が迂濶してゐると水の上一尺も跳上つて指を嚙取つて行く事などもあるので、其邊では野獸よりも怕がられてゐますが、其れを知らない旅人等は此魚の爲に命を失ふ事も少くない相です。凡て

◇油斷は大敵

小さいからこて馬鹿には出來ません其れこ同じく、男女こも青春の頃に屢々できるニキビ吹出物等でも、なあに此位な事こ捨てゝおくこ、此小粒のニキビが段々こ顏に群つて來て座瘡即ちニキビの塊こ成つたら最期、青春の人に持前の活々こして晴れやかに美しかつた顏は跡方もなく只見る橙の皮のやうな、人の前には恥しくて示されぬやうな見苦しい顏になりますから、ニキビが出來たら能々注意をせねばなりません。元來ニキビは

◇何故てきる

かこ言ふこ、人の皮膚は每も多少の脂肪氣があつて、其脂肪の爲に皮膚が滑々して艶を保ち、容貌の美しさを護るのですが、これは皮腺こいふ細い管から、常に皮脂を分泌してゐるからです。所が物は一利一害で此皮脂の分泌し方が多すぎるこ、其れが終に醜いニキビこなるのですが、男女こも青春の頃は此皮脂が多いため、ニキビも亦多いので、これを捨てゝおくこ前言つた樣な醜い顏に成易いものですから、ニキビや吹出物が出來たら直ぐ適當な藥を用ひて速かに治さなければなりません。それには

◇何が好いか

こ言ふこ、皆樣御承知の、垢ヌケする化粧水こして有名な化粧用美顏水こ共に、桃谷研究試驗所で出來てゐる「ニキビこり美顏水が」最も有効こして知られてゐます。此藥は極めて頑固なニキビや吹出物にも奇効を奏するので治く信用を博してゐますニキビや吹出物にお惱りの方には切に「ニキビこり美顏水」をお勸めします。それから又

◇蚤蚊南京虫

など、毒のある虫に螫された時此の藥を附けるこ、不思議に不愉快な痛さ痒さが止り、螫された後が腫物になる事などもありません。是は斯ういふ虫の毒を防ぐ効用が此藥に備つてゐますからで、夜分蚤や蚊でお子方のムヅかる時など誠に重寶此上ありません。尚進んで

◇容貌の美を

全うするには、此藥を常用するのが捷徑です。然うすればニキビや吹出物を防ぎ、皮膚は次第に磨かれたやうになり、容貌の美しさは益々加はります。斯ういふ進歩した重寶な藥ですから「ニキビこり美顏水」は廣く心ある家庭に常備されてゐます。（定價十二錢廿五錢五十錢並四）

大學目藥

「内外各處に賞用せられ効能最も卓越せるは本劑なり」

●定價金十錢廿錢（郵税二錢）三十錢（郵税四錢）大瓶五十錢（郵税八錢）●各地藥店に在り
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基づきし貴重なる製劑にして●はやり目●星目●トラホーム●のぼせ目●疲目其の外眼病一切に驚く可き效あり▲十歳以下の小兒の爲めに別に小兒用大學目藥あり

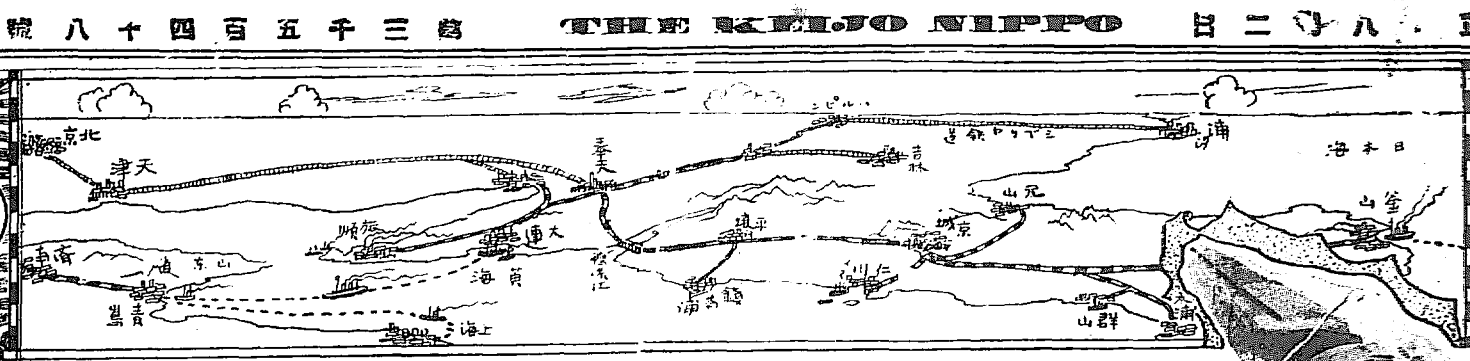
大阪　合資會社　參天堂藥房發行

千倍に釋したるアイセルを塵埃溜や下水に撒けば蠅や蚊の發生すること斷じてなし

風さささ
浪どどど
山風の懐にも
汐風の袂にも
忘れてならぬ
森永ミルクキヤラメル
煙草代用

心臓脚氣　特効藥　ベリベチン
定價 10、30、50
特約店　京城府太平通二丁目三五　キムラ藥房

京城日報　第三版



大陸經營の進展

大策茲に就るの日（上）

遡て滿鐵創立の當年を憶ふ

内務大臣男爵　後藤新平氏談

◉歴史は繰回す!!

◆新制由て來る處あり

今度、滿洲鐵道の統一と關東都督府の官制改正並に、南滿洲鐵道會社に關する改革に付て、所感を述べよとの事であるが、之に關しては新舊の兩方面に區分されるのであるが、其故きを温ねて新しきを知る事が、最も必要であらうと思ふ。其舊關係に關する事からして茲に述べて見やうと思ふ。

滿洲の帝國に於ける關係　抑も滿洲の帝國に於ける關係に付ては、當例の據るべきものがない。所謂政治の「エンサイクロペヂア」を引いて見ても、之に對する適當なるものがないのである。

内務大臣　後藤新平男

當時學者が委任統治とかどうとか云ふやうな說を立て、又種々列國の關係で、其舊典の據るべきもののなきかと云ふので、攻究された論說記事も渺くなかつたのであるが、適當に欲るものがなかつたのである。又租借地と云ふことに付ても近來の外交上の新例であるし、又此の鐵道線路の附屬地に對する統治權の關係に付ても、誠に其類例に乏しいのである。殊に日本帝國が斯の如き位置に立ち、斯の如き責任を有ち、總ての施設を試るに付ては、全くの新例と云ふても宜い、日本開闢以來三千年、曾てない所のものを拵らへたのである。そこで此「エンサイクロペヂア」にない事の出來ない人や、之に由つて考へる外はない人には務へられないのである。又議論百出して居つた時である。そこで南滿洲鐵道會社なるものが創立せられ、又關東都督府なるものが置かれて、さうして其の當時に諸般の困難を見た所の、其の缺點の多い所の病的關係と云ふものは今日迄依然として存じて居る、而して之を健全なる狀態に復せんとするに付ては、今尙昨の如く、今日も昨日も同じく病に苦んで居つたのである、而して其苦痛を一番最初から嘗め、今日も尙嘗めて居るのは寺内伯である。

俯仰今昔の感に堪へず

茲に其の由來を簡單に云ふて見ると、南滿洲鐵道會社當初の創立委員長は故兒玉大將で、同大將薨去の後を承けた者は寺内伯、即ち兒玉大將、寺内伯は關東都督府設置より今日に到る迄、直接間接に其の關係は離る可らざるものであつて自分の如きは、日露講和締結前、即ち日露戰爭中に於て奉天に兒玉總參謀長を訪ふたる時から、此の關係に對して、意見を提出する事の緣を得て以來、直接に就職を爲し、又今日内務大臣として監督官廳に立ち、今や其の滿洲は我が監督を離れて内閣總理大臣の直接監督に移ると云ふ時に當つて之を通覧すると、實に今昔の感深からざるを得ざるものがある。又滿洲に於ける多頭政治と云ふことに付て、其弊害を說き、之が統一を希望する人は朝野に甚だ多い、さうして其の居る所の位置、由つて自ら意見は異つて居るけれども此の統一なくんば、帝國の南滿洲に於ける特殊の使命を完うする事が出來ないと云ふことに付ては一致して居る。此の帝國の特殊の使命と云ふものは、單に我が帝國の爲めばかりでない、東洋の爲め、更に全世界の平和の爲め、幸福の爲めに必要なる使命である。此の意味に於て南滿洲鐵道會社創立の際、明治天皇の御下問に於て、陛下に於かせられても將來に對して、特に宸襟を惱せられたと云ふことは、畏くも之を拜察し奉るに餘りあるのである。

滿洲鐵道總裁の地位

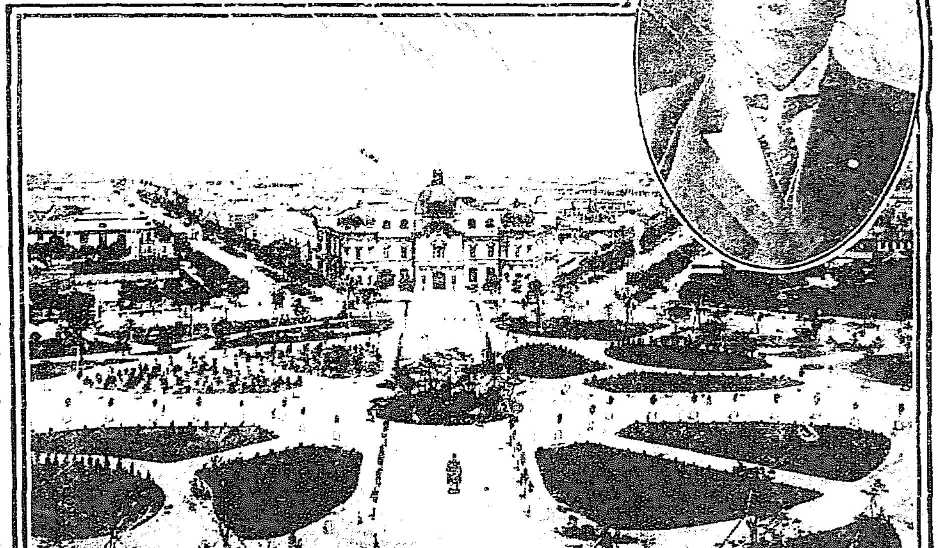
南滿洲鐵道總裁の位置に付ては、是迄各種の商事會社の總裁にして勅令に依つたものは尠くない、併ながらも例がある、併しながら親しく勅使の御沙汰を拜して特に任命せられた事は、全くの破格であつて、當時自分に於ても叡慮の程を拜察し奉つて恐懼措く所を知らざる次第であつた。然も當時は南滿洲鐵道總裁、都督府顧問を兼任せられたのである。元來總督顧問と云ふものは、總督府令で總督自ら置くべきものであるが、それを勅令を以て特に總督府顧問と云ふものを置かれ、それに自分が任命せられたと云ふことは、前後之が一度である。是れ卽ち統一せなければならぬと云ふ意味を、其時に明かに現はしたのである。

新時代に於ける新施設あり

當時南滿洲鐵道總裁たり且つ關東都督府顧問たるが故に、關東都督府と南滿洲鐵道との間に、有ゆる新例の開かるべきものは關滿に行はれて、何等の阻隔をも來す事なく、遂行せられるに至つたは、全く此の制度の爲である。然も此制度は、如何なる行政學の上にも、如何なる國法學の上にも、之を尋ねて見てもちよつとも皆てないのである。是れ活きた政治の時代と場所に適應する爲に出來た所のものであるから、世人は大に之に驚いて、物議を釀したが、是は其の當時の新聞に於いても明かである。卽ち論難攻擊の中心となつたのである。而して其の論難攻擊をした事は、前にも述べる如く今尙昨の如くであつて、世人は此の活きた問題、目前の問題を解釋する力がない。何等か舊き尺度、舊き量器に由つてやらうと思つて居るから、どうしてもいけない。舊きコンパスでは測れたい、歷史は繰返すものなりで、今度の制度の如きも要するに繰返へして居るに過ぎない、今度のものも同じものであるけれども、唯それが逆になつたのである。

勢は逆なり首尾は一貫す

南滿洲鐵道の總裁にして顧問を兼ね、帝國租借地並に鐵道沿線にかける、各般の經營に任じたものが、今度は關東都督が、南滿洲鐵道の顧問とならずして統裁者となつて、全體を支配して行くと云ふことになつて、之を顚倒しても亦之を順にしても、請り同じ一貫した所の必要の軌道の外に出づる事が出來ないと云ふことは此の事實が物語つて餘りあるものであらうと思ふ。今之を詳しく論ずる必要はないか、之を證明する最も有力なるものは、明治三十九年八月に自分が南滿洲鐵道總裁就職の情由を叙して、山縣元帥、西園寺首相、林外相の同意を得て供したる一部分、並に西園寺首相に宛てたる副書、佐久間總督の意を請ふの書及び大島關東都督の裁諾を求むるの書と云ふものの草稿を今尙所持して居るが、今其の中の要點を公にし、滿鐵創立當時の精神と、今日の狀況とを對照して見たならば、如何に滿洲にかける、我が帝國の特殊の使命を完うするのに、新機軸を出し、茲に其の制度を定め、統一の實を擧ぐるの必要あるかを祭するに難からぬであらう。



國澤滿鐵理事長と大連山街

統一政策確立の精神

大陸經營の中心點を定む＝關東都督と滿鐵と領事＝警務機關の劃一＝鮮鐵の委任經理＝拓殖局の設置

内閣書記官長　兒玉秀雄伯談

一、滿洲に於ける我帝國の施設經營が、日露戰爭以來十餘年の歲月を閲し、遂次に進展しつゝあることは、喜ぶ可き現象に相違はないが、南滿洲鐵道會社、都督府、領事の三頭政治といふものに別れて、其の統一を缺いで居るため、十分に其の効果を收むることが出來なかつたのは、滿洲經營の爲めに遺憾であつたのである。日露講和條約締結の後、我が帝國は南滿洲には、租借地たる關東州を管理し且つ南滿洲鐵道沿線及び附屬地の保護取締のことを掌るがため、關東都督府を置き、鐵道運輸の業を營み、兼て鐵道附屬地の行政を行ふが爲め、南滿洲鐵道株式會社を設け、又奉天其他主要の地方には領事官を配置して帝國臣民の保護に任じ、三者相待つて各々其の任務を完うせんことを

内閣書記官長　兒玉秀雄伯

期したのは、固より當然ではあるが、三機關鼎立の結果、經營の中心點を缺き、相互の間自から離隔扞格を來たし、朝野の經論計畫一軌にすることが出來ぬのは識者の憂とするところであつたのである。故に此等三機關の融合統一を圖つて、經營の中心點を定むるといふことは、滿洲開發の根本策たると同時に亦實に刻下の急務たることは疑を容れざる所である。特に大正四年五月に成立したる滿洲及び内蒙古に關する日支新條約の實効を擧げて帝國の利權を伸張しやうとせば、先づ經營の中心點を定め、此等鼎立せる三機關の步調を一にし、同心協力事に當らなければならぬ。是れ今回我が政府が關東都督府官制を改正し都督をして滿鐵の業務を統裁せしむることゝ爲した所以である。

從來とても官制上に於ては、關東都督は固より滿鐵の業務を監督する權能を有して居るけれども、監督權は其の名のみであつた。今回、その三機關鼎立の弊を除き、滿洲經營の中心點を定め、都督をして滿鐵全般の業務を統裁せしめ、總裁副總裁に代ふるに理事長を以てし、都督の命を承けて其の業務を執行せしむることゝしたのは之れが爲めである。而して、領事官をして前記二機關と其脈絡を貫通し、呼應提攜せしめんが爲め、政府が周到なる訓令を下して各機關の統一的行動に出づるに遺算なきを期し、領事及び副領事には地方の事情に通曉せる人材を採用するの途を啓くが爲め特別任用の制を立て實務の成績を擧ぐるに力めたのも亦之れが爲めである。

二、我が政府が南滿洲に於ける警察制度を改善せんが爲め、普通警察と憲兵警察の合一を期したのは、是れ啻に前述行政組織の統一融合の趣旨に適ふものたるのみならず、滿洲特殊の情勢は一層兩警察の一致提携を要することゝ、苟も滿洲の事情に通じ支那人の性格を解する者の一般に首肯する所であらう。世上警察制度を一變し憲兵制度を採用したるかの如く唱ふるものあるやうであるが、是れ其眞相を知らざるものの誤解である。要するに關東都督府官制の改革は其他各般の施設經營と相俟ち滿洲開發の政策を實行し、日支親善條約の實効を擧げんがために、最も適當の措置である。

我政府は獨り關東都督府、南滿洲鐵道會社、並に領事の三機關を改革し、其の機能を發揮し、其の統一を保たしむるに努めたのみではない。更に進んで滿洲經營に缺く可からざる金融機關の組織を完整ならしめ、以て多年の宿題を解決したのである。今回、政府が東洋拓殖株式會社の營業目的を擴張し、新たに其支店を奉天に設置し、主として滿洲に於ける不動産金融の中樞機關たらしむると同時に、朝鮮銀行をして支店出張所を滿洲の要地に設置せしめ、特に一名の理事を大連に常派し、專ら商業金融の衝に當らしめ、銳意產業の振興を助成し日支經濟の聯絡を圖り延て彼我の親善を實現せんことを期したのは、滿洲開發の爲めに已む可からざる政策の一である。

三、翻て滿鮮鐵道の關係如何を見るに、朝鮮鐵道と南滿鐵道とは朝鮮を貫いて滿洲を横ぎり、更に露國の東淸鐵道と聯絡する大陸鐵道の主要幹線たることは言ふまでもなく、朝鮮鐵道は決して鴨綠江に達して止まる可きの地方的交通機關でも無ければ安奉線は安東縣に至つて終る可きの獨立交通機關でも無い。彼此相俟て其運輸聯絡を緊密ならしめ茲に初めて滿鮮交通機關の本能を發揮することが出來るのである。近時、滿洲と朝鮮との間には、貨客の輸送一層頻繁を加へ、兩線共管理を異にするが爲め、不利不便言ふ可からざるものがあることは、世人の齊しく認むる所である。今回我が政府が、冗費を省き、節約を圖り、運轉を圓滑にし式を統一にするの目的を以て、朝鮮國有鐵道の經營を滿鐵會社に委託し、朝鮮鐵道一切の業務を執行せしむることゝしたのは、是れ交通機關の聯絡を圓滑ならしむるに在るに外ならねけれども、朝鮮に於ける地方產業の開發上最善の努力を致さしむることは勿論である。

四、殖民政策の消長如何は、帝國の盛衰と相俟て、離る可らざる關係を有するものにして、帝國の前途にとり最も重大なる問題である。然るに、現在の官制に於ては、朝鮮臺灣及び樺太の政務は、内務省の管理する所に屬し、關東州は外務省の所管に屬し共に省内の一課に於て之を監理するに過ぬのである。殖民地行政の指導監督が其宜しきを得ず、殖民政策の振はざるものあるは、深く怪むに足ぬのである。今回我政府が拓殖局を設けて現時の不備なる殖民地監督行政の短所を補ふと同時に、滿洲の開發に關する諸般の事項等を統理せしむることとしたのは、機宜に應ずるの措置にして殖民政策の前途に對して大に期する所があるが爲めである。

内地行連絡貨物の輸送

三本營業課長談

内地行連絡貨物の一掃期に就ては七月初め發表せし通り關釜間臨時貨物船御嶽丸は六月末日限り運航廢止せられ且時節柄風浪等の爲め運航上の支障を豫想して

△七月以降の輸送力を内輪に見積り釜山地發を除き一日平均四百噸見當とし六月末日現在停滯貨物の一掃期を八月中旬と豫定し置きしが七月二十六日迄の成績に依れば一日平均三百九十二噸を輸送し略ぼ豫定通りの輸送を爲したるも其後大豆小麥豆粕等大口物の發送申込續出し七月二十二日現在の內地行停滯貨物は朝鮮各驛發本州行八千六百二十四噸九州行千九百八十噸安東發本州行六千七百十一噸九州行七百八十噸合計一萬八千九十七噸を算し外に東拓南滿線發のもの一日四五十噸位あるも關釜間聯絡輸送力は從來の通り

△晝夜二回の定期船のみにして併も目下內地行小荷物扱の爲め連絡貨物の船腹に影響し輸出荷旺盛の爲め輸送力の減殺を免れざるに依り發送の制限を毎日朝鮮各驛發に對し九百八十九噸安東發六百四十噸合計三百三十三噸とせりの停滯貨物は早くて九月上旬に至らざれば一掃することは能はざるべし從つて今後申込に係るものは右一掃豫定後にあらざれば受託發送の運びに至らざるにより豫め承知の上申込まれたし因に鮮滿及び朝鮮内の發著貨物に就ては何等の支障なく順調に輸送を爲し居れり

…二十三圓五十三錢大阪當中五十七錢との 又當に七十九錢と押したるが間違ならんとの說に 八十三錢と銳れたるも天候に…の事に買物現はれたる…
より能く買向ひたるも大阪… 安大鐵に七十九を押したるが大阪當中高き…或は間違ならんとの事にて一旦八十三錢を…むるも間違にあ…との說と天候の快晴は降雨の近づきたる者…今の猛烈賣に脆くも六十八錢と崩れ

△二 同…五千餘石買五…
△□ 同店の賣二千餘石買三千餘石
△一 同店の賣千餘石買四千餘石

△…
玄米 二、九二
大豆 三、〇九
小麥 二、四八
…米 二、三三七
…豆 一、九二六
…子 一、二一四

八月一日仁川…協會の調査に係る

△仁川現物
…
△後場當限四十九圓七十…
十九圓八十二錢 四錢六錢七錢八錢九十錢八十六
錢八錢平均値段八十七錢 八十七錢六錢三錢一
錢二錢三錢 均値段八十三錢 八十三錢 一錢一

寄付 止
一日の十月限
十九圓八十二錢
十九圓七十二錢

京城日報

鮮滿鐵道統一（加）

朝鮮と滿蒙とは、其の關係同じからざるものあるは、固よりなりと雖も、南滿洲と東蒙古とは、北滿洲及び外蒙古に對して其の均勢を制し、朝鮮半島を保衛する帝國國防の外廓たり。支那本部に對し、其の領土を保全する關鍵たり。之と同時に、經濟上に於ては、日本民族の植民地にして、北部支那に於ける貿易の根據地たり。然らば則ち朝鮮と滿蒙とは、政治上は別問題とし、廣き意味の經濟上に於て、實際離る可からざる關係を有するものと謂はざる可らず。

朝鮮と滿蒙との利害關係離る可からざること此の如しとせば、我が帝國が朝鮮と滿蒙との經濟的聯繫を圖り、一層其の結束を緊密ならしめ、其の交通機關を完成し、國防的基礎を完整ならしむるに於て、東亞大局の均勢、始めて其れに維持せられ、支那に對しては、本部の領土保全に任ずることを得。他面に於ては露國に對し、他の列強に對し、其の野心を防遏し、分割の勢を未然に制することを得べき也。是れ其の現內閣が首として滿蒙の統一を期したる所以にして、鮮滿鐵道の統一は、即ち將來鮮滿蒙を經濟的に統一する第一著手段に外ならざる也。

鮮滿統一の第一著手として、朝鮮鐵道の經營を南滿鐵道に委任すると同時に、滿洲に於ける我が行政機關を統一し、其の機能を敏活ならしめんが爲め、關東都督府の官制を改革せるは極めて時機に適したる措置たるを失はず。蓋し從來我が滿洲經營政策の動もすれば統一を失し、徹底することを能はず、左支右吾の弊抄からざりしは、對支方針の動搖反復、常なきの致す所なりと雖も、抑も亦關東都督府、外交部及び陸軍部の三頭政治相對峙しつゝある結果に外ならず。而して今や現內閣が鮮滿鐵道を統一すると同時に、關東都督府の官制を改革し、關東都督をして滿鐵の事業を統裁せしめ、特別任用の例を開きて滿洲地方の領事を任用し三頭政治の弊を一掃し、機關の統一と敏活とを期するは、大陸統治の政策上、其の一歩を進めたるものとして、吾人は現內閣の英斷を多とせざるを得ざる也。

世上或は關東都督府の官制改革を以て、鮮滿の制度を畫一にするものなりと爲し、他をして疑惑を生ぜしむるものゝ如く論ずるものありと雖も、南滿洲と東蒙古とは、純然たる帝國の主動的勢域にして、日露協約に於て既に之を認め、列國も亦之を公認せる所。此際、帝國が關東都督府の官制を改革し、其の機關を統一し、其の機能を發揮するは、啻に從來不統一の弊を一掃し、大陸經營の政策を遂行するに於て、便利なるのみならず、其の政策遂行の結果は、滿蒙民族をして、我に信頼せしめ、將來我と同化するに至るべく、毫も隣邦興國の猜忌を招くの素因と爲らざる也。

◎墺帝講和提議
羅馬法王を通じて

ベルンよりの報道に依れば墺國皇帝は墺國遂に破滅するの危險あるを看破し羅馬法王に對し講和を提議せんことを乞ひたりされど法王は是を拒絶せり（交港電報）

◎獨羅國革命黨失敗

獨逸は羅馬尼に革命を起さしめんとしたるも竟に失敗に歸せり又露國の軍隊を讒へる獨逸人五千名羅馬尼官憲の爲め捕縛されたり（倫敦電報）

◎聯合軍希國撤兵決定

聯合國會議は遂に希臘テッサリー及びエピラスより聯合國軍隊を撤廢せしむ可く決定せり（巴里特電）

◎英國商船續々武裝

英國下院に於て海軍次官マクナマラハク氏は曰く英國商船は武裝せるもの已に三千隻に達し猶多數の商船は續々武裝しつゝあり（倫敦電報）

◎獨逸外相更迭か

土耳古駐劄獨大使キユールマン氏はチンメルマン氏に代りて獨逸外相たるべしと傳へらる（紐育電報）

◎馮氏入京と歡迎準備

既電の如く馮副總統は三十一日午前一時盛んなる軍樂隊の吹奏裡に將軍署を出發浦江より特別列車にて北上一日午前十一時着京の豫定なるが中華門には裝飾を施し歡迎準備盛んなり（北京特電）

◎中村都督議員辭任

中村關東都督は現役に列せられたる爲め貴族院議員を辭したり（東京特電）

◎中村都督著期

新任關東都督中村陸軍中將は一日若くは二日頃旅順に赴き新任の挨拶をなし夫れより合併後の南滿洲鐵道及び朝鮮鐵道を視察すべし（大連特電）

◎隈部少將著任

新任關東都督府警務總長隈部陸軍少將は一日旅順に著任佐藤前總長より事務引繼ぎを受け終つて大連、金州其の他管內各地を巡視すべし（大連特電）

◎秋山參事官北行

東上中なりし秋山總督府參事官は一日午後九時三十分壹岐丸にて釜山著、同十一時發列車にて京城に向ひ歸任せり（釜山特電）

◎佐々木長官歸任

來釜中の佐々木道長官は一日朝十時半發列車にて歸任の途に就けり（釜山特電）

◎浦鹽禁旅

露領浦鹽港一般內外人出入禁止に關し同地朝鮮郵船代理店より京城本店へ入電せし所に由れば露當局は七月二十九日より八月十五日迄外交官以外一般內外人の浦鹽出入を禁止せるが右の內日本人は出發には領事館の身元保證あるもの及び入國には證ある旅券を有するもの、外在本邦露國領事の身元證明あるものに限り出入を許可する由なり

◎地方造林事業
大正五年度の實績

▲地方費模範林 の殖林は明治四十三年度に江原道に於て新植を始めたる以來各道に於て著手し大正五年に至る七箇年間に於ける其の新植面積累計約千五百七十町步此の植栽本數約六百三十七萬三千本に達し其他現在約千二百十五町步の天然生稚樹保育を行ひつゝあり而して是等の施業面積を本年六月現在の地方費模範林全面積約六千七百八十四町步に比すれば約四割一分に相當するを見る、即ち

▲從來の殖林 は正に全面積の半數に達せんとしつゝあり大正五年度に於ける地方費造林事業は各道に於て之を行ひ其の新植面積約四百六十二町步天然稚樹保育面積約千二百十五町步新植及び補植本數約百六十八萬三千本播種は林一斗四升五合にして之に要したる經費約九千六百八十二圓なり之を大正四年度に比すれば新植面積は約一倍六に當り補植本數は一倍四分に當り六百三十二町步の増加保育面積は約百七十八町步の増加、四十三萬九千本の増加にして

▲播種の造林 は本年度に始めて實行したるものなり而して經費に於て約一千四百三十二圓の増加を示せり、更に之を明治四十三年度當初に於ける施業に比すれば過去七箇年間に於ける面積に於て約九十二倍（新植のみに就きての比較）本數に於て約七十七倍（同前）の多きに達し漸年増加の趨勢に在り

◎京漢線不通

既報の如く竟に不通となりたる京漢線は復舊工事を竣り列車の運轉を見るに至りたるが三十一日京漢線在家莊に於て水害のため線路破損し同線の旅客及び手荷物の取扱を休止せる旨鐵道京城管理局に電報あり

◎漢城銀行總會

漢城銀行第二十四期定時株主總會は三十一日午後四時より行樓上に於て開催同期貸借對照表、財產目錄、損益計算書並に利益金分配案を附議したるに總て原案の通り議決し次で散會せり

◎滿鐵の披露宴

滿鐵理事長國澤新兵衛氏は三日午後七時より京城龍山仁川三地に於ける有力官民約三百名を朝鮮ホテルに招待し鐵道統一披露の意味にて晩餐會を開催する由

◎京畿漁業許可

大正六年六月中に於ける京畿道管內漁業許可は第七種鮟鱇網漁業內地人十五件朝鮮人一件第七種中鰯網漁業朝鮮人六件にして何れも外趣出漁業鑑札下附件數三十七、鑑札失效八件ありたり

◎保安林解除

京畿道京城府新町南山の國有林野面積百九十三町四反十畝步は從來保安林中に編入され居りしが右の內面積約一町步の林野は今回森林令第三條に依り保安林を解除せられたりと

◎雇員採用

大正六年度追加豫算の結果本年度以降各道に於て林野整理調査を實行するの件は本紙既記の通りなるが總督府にては此の爲め內地人雇員十九名を採用の上出張せしむ同雇員は山林課に於て試驗の上採用し一定の講習を各道に派遣す可し調査の心得ある希望者は先づ山林課宛に至急願出を差出す可しと

◎大屋前長官東歸

既報の如く前鐵道局長官大屋權平氏は一日午後七時五十分南大門驛發列車にて歸東したるが大屋氏は質素なる紺春服の輕裝にて家族同伴出發せり見送りの重なる人々は、山縣政務總監、秋山軍司令官、各部長官、國分李王職次官、鎌澤滿鐵理事長、櫻井管理局長、三本營業課長其他文武官民多數なりき

◎庵原水產技師視察

總督府農商工部水產課技師庵原文一氏は二十九日至釜三十日は午前十時より海產物商四十餘名を釜山商業會議所に召集し海產物取締規則並に檢查所設置に關し種々諮問を爲し三十一日は朝鮮水產組合、水產會社及び牧の島を視察したるが二日釜山を發し鬱陵島に赴き同地の漁況を視察したる上歸任の筈なり（釜山）

◎隈部少將へ記念品

今回朝鮮駐箚憲兵隊司令官より少將に陞進し關東都督府警務總長として榮轉せる隈部少將に對し各官廳有志者及び金谷府尹其他官民有志發起の下に記念品贈呈の計畫あり申込は八月末日限なりと

◎警察官異動

八月一日附にて警察職員に左記の通異動ありたり

舊任地	新任地	官	氏名
咸鏡南道部	西湖津署長	警部	猿渡唯助
元山警察署	新浦署長	同	沖德五
定州署長	城川署	同	小林謙治郎
城津署	長連署長	同	松澤義山
長連署長	釜山署	同	黑川良市
釜山警察署	元山警察署	同	中辻金助
江陵署長	南川署長	同	佐野太吉郎
高陽署長	新浦署長	同	川上玉次
高嶺署長	全北部	同	椎名巳之助
鎮南浦署	咸北部	同	阿部義光

東京より
一記者
七月廿九日

調査機關

▲我帝國政府は、拓殖局を設置すると同時に拓殖調査會を組織し、我が新領土植民地に關する、統一的調査機關たらしむべしと云ふ、吾人未だ其調査機關の組織、編製に就て聽くところあらざれども、即ち是れ、歐羅巴大植民國に於て見る所の植民會議の類なるべく、其人を得其事を舉ぐるときは、我拓殖經營を補益することの、甚だ大なるべきを疑はざるなり。

▲然れども、此種會議又は調査委員會の缺點は、其構成分子雜駁、不統一なる爲めに、意見區々に分れ、且つ其言議無責任に流るゝにあり。我帝國本土の諸調査委員會は、近年頗る不評判にて一も效果を全くしたるものはこれ無く、其の行務は、總て有耶無耶の間に、葬り去らるゝ有樣なりと云ふ際に、新たに拓殖調査會を起すは政府當局者としては、十分の要意なかるべからず。內地の農工商業、又は教育其他に關する調査會は、假令調査會其ものは無能なりとも、其委員を各方面より舉ぐるといふが、即ち人物網羅策ともなり、人心統一策ともなる次第なれども、我日本の新領土植民地に關する調査機關は、何等政略政策を含むべからず、又其調査研究する所の事は、直ちに實際上に現はれて、其利害得失の關する所甚だ大なり。不完全不適當なる機關あるは、寧ろこれ無きに若かざるなり。

▲植民會議の組織、編製は歐羅巴大植民國爲政者の、大に其心を苦むる所にして、各國の制度各長短あり。英吉利には印度會議なるものあり。其委員は、十八乃至十五人を以て組織し、委員たるものは、印度に在る、甚だ見るべきもの或は印度より歸來して十年以上たるを、未だ十年を經過せざることを、其資格要件と爲す。乃ち英國の印度會議は、純手たる專門智識の府にして、印度に對する立法行政上の重事は、總て此會議に諮詢せざるべからず。其權威高く其信用厚きは、固より其處なれども、其資格制限餘りに窮屈に過ぐるの議なきにあらず。

▲然るに、佛蘭西の高等植民會議は有らゆる有力階級、代表者を網羅するといふ方針なる爲めに、其委員は八九十人の多きを見るを以て、其議事及び行務は不進捗無責任に流れ易く、近年は委員中より、少數の特別委員を舉げて、其事に當らしむるといふ始末なり。獨逸の植民會議は、英佛を折衷して其長を取るといふ精神にて、學者專門家二十四人を以て之を組織し、其調查研究の成績は、甚だ見るべきものありと雖も、其の意見議論、自ら學究的に流れ、實際と相適はざるの憾あり。

▲北米合衆國は、斯る常置の特設機關なくして、一定の問題起る毎に、其の爲めに調査委員を選任し、其調查研究の事に從はしむるを以て、其規模の大小は、一に其問題の性質に從つて之を定む。是等諸制度、何れを是とし何れを非とすべきか。吾人は暫く此に之を言ふを避くべしと雖も、要は其大體は、即ち自ら明白にして、其は新領土植民地に關する調査機關は其の最も實行的なるを尚び、政略又は一時の便宜の爲めに、之を設くべきものにあらざるなり。

◎南雲北話◎

英國の議會にも和議論が出て大分議論に花が咲いたらしい▲各方面の戰線も何だか活氣に乏しく▲露國の女子義勇軍が戰線に出て金切り聲を振り上げて散々な目に逢ふなんて▲夫婦喧嘩と戰場とを取り違へては困る▲流石の大戰も大分下り坂になつた樣だ▲憲政會の領袖連が加藤總裁邸で顏を合せた時▲戰後の外交に入ると帝國の運命を擔ふて講和會議に列する果報者は誰だらうと云ふ事になつた▲加藤總裁曰く我輩は先づ帝國の主張の焦點を定めねばならぬ▲其焦點は獨逸よりも寧ろ英國でなくてはなるまい▲既に對手を英國とすれば眞に英國を知り英國を解する有爲の人物を選拔して局に當らしむるのが最も機宜の措置だらうと半日間自答して恬然として得心の笑を漏したさうな▲矢つ張り乃公出でずんばの方らしい▲が、大江卓君ぢやないが日本から英國紳士を出すと利益は英國の方に多いのだらうから之れは考へものだ▲政友會の幹事長の事皇川圭介君の交際振は有名なものだが▲先生滅多に原總裁の私邸へは伺候しない▲偶々用があれば同役に託して要領を得る▲或人が其れでは總裁のお覺わ如何と問ふと▲總裁は吾輩が使つてるのだからお覺わ召は此方から與へて遣るのだ▲今に節でも老つたら養老金を扶持しやうと思つてると呵々大笑▲此事が總裁に聞わたら定めし愛臆に堪へぬ事になるだらうとは側の人の話▲之れは又風流な居の前代議士奥野市次郎君は十德姿で歩くと云ふ凝り方▲今春吉野山に花見と洒落込んだのは好いが花に憧れ過ぎて自邸の動產競賣の日を忘れた▲一句駄句つて曰く「花を見て競賣の日を忘れけり」▲香氣も此處迄來れば愛嬌になつて罪がない

漢江舟游　今關天彭

鷗波柔櫓趁閒鷗。日午搖過柳岸頭。
淡々涼雲流不住。滿天風露入扁舟。

◎木浦◎

▲明治天皇祭 三十日午前九時松島神社に於て明治天皇祭を擧行し[illegible]上り盛會を極め體育會にては臨時擊劍會を開き三十餘組の試合あり[illegible]

▲[illegible]話會は二十九日午後七時三十分より木浦普通學校に於て開催せしが[illegible]

▲立寄常高等小學校生徒の水泳練習は[illegible]と合同して來月四日の[illegible]後七時より海上に納涼[illegible]

▲[illegible]課長白水淡氏は廿六日午後七時より望月に重砲兵大隊將校一同及び三[illegible]

▲醫學博士[illegible]を初め其他京城大邱等より當地に避暑の爲め旅館又は假寓[illegible]

▲[illegible]に着任せし元釜山測候所長八田益太郎氏は三十一日午後十一時發列車にて仁川に赴任したり（釜山）

滿鮮鐵道の統一

朝鮮銀行

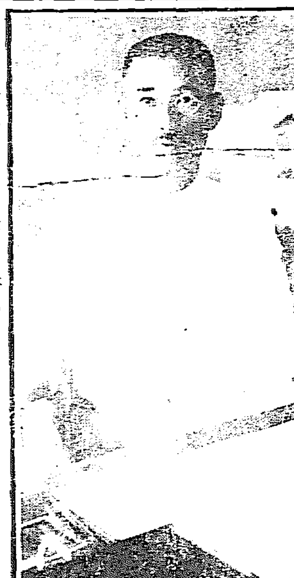
滿鮮鐵道の統一

京城南大門通り二丁目

毛織物卸商
洋服裁縫
丁子屋商店

電話 二一三 六九〇番 二三〇

振替京城二一八八番



前任總督府總務局長（高等官二等）荻田悅造氏の事務振り（八月一日撮影）

涼しい石佛 研澄した石劔

王朝の盛時を偲ぶ美しい玉管

—今日この頃の李王家博物館特別館—

暑い／＼と云つても動物園や植物園は相變らず賑つてゐる、今日は李王家博物館特別館を一寸紹介しよう 同館陳列室を入ると、佛像が澤山飾つてある。先づ第一に御釋迦樣から觀世音菩薩、阿彌陀佛、大日如來、彌勒菩薩其他脇に飾る阿難、迦葉等々孰れも比較的小さいものが多い、尤も中に南漢山にあつて新羅時代の鑄造に成る鐵佛釋迦牟尼世尊坐像の如き

◆雑と一丈何尺も あらうといふ大物もある、其他石佛で是も新羅時代の作に成る大日如來も佛身が坐像で七八尺、背の光を入れたら彼是一丈もあらうと思ふ程の大きなものである 其外一二尺の坐像及び立像が五六個あるのみで、他は凡て小さな佛像のみである、是の小さなものは僧侶が自室に飾つて置いたものであらう。それから『乾漆佛』として本尊の傍へ二體文珠、普賢兩菩薩が立つてゐる立像がある、漆で固めたものであるが、是は日本にも無いものである。而して是は凡て朝鮮で出來たものである、といふのは

◆日本や支那で拵へた佛像は必ず佛體の背後まで彫刻してあるが、朝鮮で造つたものに限つて乾度背後に何の技巧も施してないので略ば見當がつく譯である。更に佛像の型も段々進化してゐるので面白いではないか、或る程印度では熱いから佛像といへば多く裸體又は半裸體乃至女神の像とても半裸體に近いものになつてゐる。ところが是れが支那へ來て更に朝鮮へ來ると、著物が段々完全になつて、中には肌をも露はさないのがあるのは面白いではない歟。而て

◆北印度のカンダラ から渡る佛像は同地方が歴山王遠征後、希臘の美術や、羅馬の開化を受けて餘程著衣が變つてゐる。大方その型が朝鮮に流入して、我國でも丹うだが、漸次今日の如き佛像となつたものであらう。佛像の外に高さ一丈もある青銅の梵鐘がある、是は統和二十八年（約八百年前）のものである。次は新羅部の室で、古いのは（恭愍王筆）天山大獵の圖で今より約五百六十年前のもの面白いと思つたは魚夢龍筆の梅で三百五十年前のものだが、蓋し好きの垂涎措かざるものであらう、此の外に數寄者の見惚れて去る能はざるものが

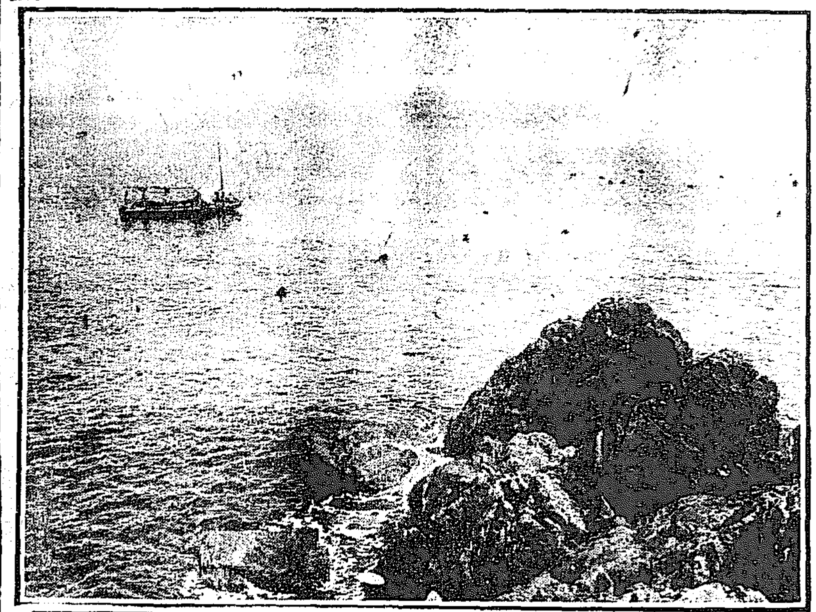
◆一幅となく諸帖と なく幾十種あるから物好きな方は普通觀覽料の外に五拾錢して見て置いたら好からうと思ふ。その次が刀劍とか器具とか硯や簓や其他の石細工や漆器類が陳列してある。何れも粹を拔たものではあるが殊に誇りの巧妙なものである。掲けば新羅統一後の盛季には王都の人口八九十萬もあつた。是では今の京龍仁を一所に併せても未だ足りない程の大都會だから無理もなかつたであらう。次は陶磁器の室である 高麗燒一個の價格甚く勿れ、今日に於ては千金を積むも得難きものもあるといふに至つては驚歎の外はない

◆陶器は支那にも 好いものが隨分ある 朝鮮の高麗燒は又格別である、而かも薄い青磁の壺へ濃い青磁や白磁で櫻の葉や枝や其他の模樣をあしらひ其れへ鮮やかな柿色で小櫻の花房か何かを現はし土の象眼入花瓶の如きは、素人目にもつく／＼見惚れた 蓋し柿色の釉藥は交趾よりの傳來らしいが高麗燒に於て遺憾なく其の光輝を發揮してゐる。其他筆で描いた繪高麗や天目といつて南支那天目山の陶器に擬したものがある、一寸序でに斷つて置くが、能く此の『天目』は我國のは覆輪を置てあるが、此處に陳列してあるのは覆輪がないけれども

◆抑も『天目』の覆輪 なるものを洗ふ時に疵の付くのを懼るゝため我國で付けたものらしいから覆輪の無い方が却て我國へ渡らぬ眞正の本物である。繪紋陶器は燒くとき生地の下へ白釉をかけて燒いた上其の上へ更に黒い釉を掛けて上から小刀で模樣を彫出したものである。其他『三島手』といふのは地紋が簑苗紋の樣に點線を一面に描いてある、之は我が豆州三島神社から昔し出た暦に似てゐるので『三島手』といふ。次は

◆先年本紙に報じ 末松同課長が全南康津の大口面から發見した高麗燒の窯から採取したる製造所の一部又は試製所とも認むべき遺物が陳列してある。而して高麗燒に據りて研究し得たる窯業史上有益なる資料は、新羅時代に於ては未だ完全なる釉藥があつたか無いか疑問であつたのを、此の研究が進んだ爲め、新羅時代に立派な釉藥の有つたことが判つた次第である。其他未開時代の原人が用ひた石斧や石鏃なるものは我國で發見されたものは總て應製のものゝみであるが朝鮮殊に

◆東北海岸で發見 するものは、悉く研澄してある。此外すつかり玉で造つた玉管杯は、見るだに同王朝の盛時が思ひ遣れる、あゝ『一々王人玉管を弄す、吹くは誰が家の兒ぞ、想ふに無官の大夫敦盛卿の如き美少年にては非ざりし乎、或は容貌魁偉なる八代風流大佐の如き猛將にては非ざりし乎。是を思ひ彼を想へば、治亂興亡一千年の昔を追懐す。時に日も駱駝山の頂に傾き初めたれば、其さに說明の勞を執られたる末松氏に謝して歸社したり（一記者）



青波かづきつ——海雲台に於ける蜑の漁——

◉烏致院の暴風

倉庫吹き飛ばさる 被害夥だし

烏致院にては一日午後五時頃驟雨あり加へて暴風起り新市街辻川喜助氏倉庫を吹飛ばし志田材木店倉庫二棟並に市場の小屋一棟支那人家屋二棟倒潰し岡精米所倉庫の家根を吹剝ぐ等損害夥だしく夫れが爲め殊に金市雜貨、海産物及び繩叺等の被害勘からず同六時四十分頃風凪ぎ雨歇みて再び快晴となれり（烏致院特電）

◉各驛員の改服

多分本年の冬服から

朝鮮鐵道は三十一日より滿鐵の經營に移りたるが當分の間各驛其他の從業員の服制は現狀の儘とし多分本年の冬服より滿鐵の制服と改むる事となるらん滿管理局長以下局員は一日より全部官服を脫し普通の脊廣洋服に變じたり

◉奸手段を弄して大金を捲上ぐ

陸軍大尉と稱して京城附近を徘徊

京城松月洞居住無職柳德鶴事柳彰浩（四二）は昨年四月十六日京畿道抱川郡相石鎭の酒幕に立寄りたる際同郡新北面新坪里李喬榮なる者と同席し喬榮の家族にして京城に於て雜貨商を營み居れる李鍾見が放蕩にして其の財産保護の方法を講ずる爲め上京の途中なることを聞知して彰浩は俄かに惡心を起し喬榮に對し自分は元陸軍正尉（大尉）にして暫く抱川郡松隅里に於て金貸し業をなし今京城に歸るものなるが今日の制度に於て僅少の財産を保護するには財産拘束處分と稱する方法に依る外なく自分は裁判所の判事書記等に懇意の者あるにつき申請手續きを爲し與へんと

▲言葉巧みに 欺きて同人を惑はし一切を託する旨契約せしめ相携へて京城に立歸り鍾路通四丁目心旅館に滯泊せしめ其の後同月二十六日以降李喬榮が漢井洞なる彰浩の居宅を訪問する毎に同人よりの委託事務を處理し居るものの如く假裝し

▲其の處理上 所謂財産拘束處分申請印紙代三十圓、郵便切手代八十五錢、判事に運動贈賄費用二圓二十七錢、保證金五十圓、判事書記饗應費二十七圓五十錢、裁判の正本申請印紙代十七圓五十錢等の仰山なる名目を拵らへ合計金百二十八圓二十二錢を騙取し尚飽き足らず同人より民事訴訟事件の諸費用なりと詐稱し更に十八圓二十錢を騙取したり然るに同人は五年十月中南安州にて

▲竊盜罪に依り 笞刑を受けて徘徊中豫て面識ある同地邑北面南小里の獸肉商韓致玉に對し獸肉商組合を組織し肉價を引上ぐれば多大の利得なり之れを設立すべし其の運動に就いては自分の姻戚なる元軍部大臣たりし某子爵に依頼すれば直ちに許可さるべしと出鱈目を說き立て彰浩は歸京後其の運動費印紙代等を携へて入京すべしと申送りて京城に誘引し種々の

▲名義を利用 して數回に五十六圓餘を騙取し尚同年十一月致玉の留守宅に宛て致玉の名義を以て僞電を發して金四十圓を電送せしめて捲き上げたる後尚ほ致玉が歸鄕するに當り其の旅費として金三十圓を電報爲替にて送金せしめ同樣致玉の印章を押捺して件の三十圓を捲き上げ尚も致玉の同居人金士弼に宛て金百圓を

▲僞電したる を怪しみて家人が入京したる爲め騙取し得ず罪科悉く發覺して遂に鍾路警察署に檢擧され京城地方法院の豫審に附せられたるものにて取調べの結果前記の如き奸手段を弄しゐたること判明して此程同法院ノ公判に附せられたり

◉汽鑵車に觸る

三十一日午後七時五十分南大門驛發列車が龍山鷺梁津間を進行中福岡縣人花田鶴藏（三二）と云ふもの汽鑵車に觸れ後頭部に裂傷を負ひたるが生命には別條なからんと

◉赤痢

京城東四軒町五十九番地小嶋つくい（八）長谷川町百十三番地土谷宇一郎（三七）は何れも三十一日赤痢として入院せり

◉委託物を横領

京畿道楊州郡和道面九岩里船夫金富成（二八）は貨物の委託運送業を營み居れる内本年三月十日加平郡外西面大成里洪淳昇より薪五百餘貫を託送されたるものを悉く横領して四圓五十錢に賣却したるを手初めに同樣外二名より依託物を横領したる一件は此の間京城地方法院にて富成は懲役一年の處分となれり

◉二人組の兇賊

全北淳昌郡八德面山東里金學善方に六月二十七日夜覆面の強盜二名侵入し主人を捕へて其前日賣却したる籾五斗落の代金百五十圓を渡さざれば殺害すべしと家人を脅迫し一方隈なく室内を搜査したるも遂に目的を遂せずして逃走したるが訴へにより所轄憲兵派遣所にて取調べの結果犯人は同郡同面日谷里曹學重（二九）及び同面同里李昌俊（二七）兩名なるを突き止め捜査中の處曹は廿一日淳昌里に於て李は翌二十二日全南松汀里に於て何れも逮捕さる

◉掏摸

忠南恩津郡生れ前科二犯住大奉（二八）京城禮智洞居住前科三犯宋允善（三一）兩名は共謀し七月十九日夜勸業總監部通りにて辻賣りの見物中なる新町の卞貞奎より金二錢を掏り取りたる所を同人に取押へられ本町署に突き出さる

小說 花かたみ

都合により本日休載

▣浪花館 東京落語柳家門助一行にて開演中なるが一行は助六始め若手揃ひの事とて此の暑さにも拘らず何れも東輪に勵め居り、大切の落語角力など殊に喝采を博し居れり

▣有樂館 二日より全部新寫眞と差替へたりその主なるものは左の如し ▲喜劇ユニバアサル週報四十三號▲滑稽西部劇繪の巻▲滑稽パイプ屋の危險▲活劇大金鑛一名思ひの旅路五卷▲新派悲劇後の心全三卷▲喜劇肥後の駒下駄全五卷

▣大正館 二日より全部新寫眞と差替へるその主なるものは左の如し ▲喜劇歐洲戰爭テルモンド包圍戰▲冒險活劇ヘレンの冒險第二十三卷▲新派悲劇俠藝者全三卷▲滑稽和蘭名物二千尺▲舊劇一國女全四卷百二十六場

▣壽座 喜劇鬼笑會一座にて開演中なるが二日よりの替狂言は貸さぬ家三場五色の嶌三場知らぬ同志三場思ひ切三場等なり

…軍人會にては午前七時特に[illegible]にて遙拜式を擧げ午後公會堂にて明治天皇御遺德の講演會を開き一般聽衆を入場せしめしかば二百餘名に[illegible]

[illegible]務部長[illegible]二十九日午後[illegible]にて若六時二十分發列車にて歸任▲[illegible]講話會●鮮人側に對する夏季僑生講[illegible]

馬山

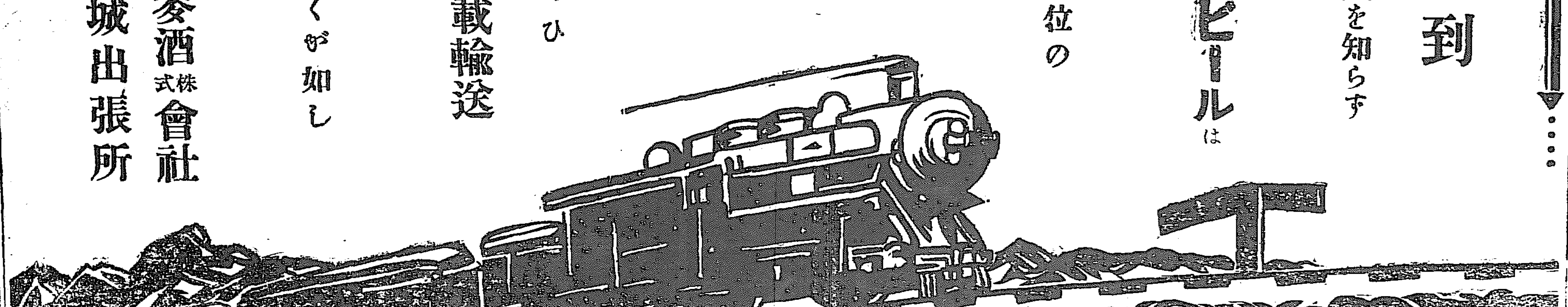
[illegible]▲馬山兩校水泳練習●馬山公立尋常高等小學校及び鎭海公[illegible]

[illegible]馬山懇話會は鎭海官民より組織せる[illegible]迎[illegible]招宴[illegible]白水參[illegible]と目下有志の協議中▲[illegible]來馬中なりし軍參[illegible]にて歸任の途に就たり▲名士の避[illegible]總督府醫院長芳賀博士一族久保[illegible]

◉八田測候所技手赴任 仁川測候所[illegible]防に苦心中なり

發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目
印刷人 [illegible]川三之介

注文殺到
賣行の底を知らず
國産サツポロビールは
今や
愛飲家各位の
嗜好白熱に達し
更に
滿鮮鐵道統一に伴ひ
毎列車滿載輸送
恰も
櫛の齒を引くが如し
大日本麥酒株式會社
京城出張所



醫學博士岡田先生證明

腦病良藥レーベンの聲名いよく高し！

貴重なる人命を託すべき藥品の高い廉と云ふ比較は品質の良否を見た上で決定さるべき問題で厶います。腦病良藥レーベンの聲價が日本全國の津々浦々に轟き「他の藥に使用てない高貴なる腦の營養素たる『リンサン』が加味されて居ればこそ斯く卓越した効能がある」といふ眞價が海を越え山を越えて世界的に承認せらるゝ事となりました「藥は高價なるものを選べ」と諺に云つてあるのは眞に事實で厶います。

岡田醫學博士を初め陸海軍大醫官其他の專門諸大家が有効證明に或は服藥推奨に果に伊藤先生の著書中にレーベンが民間藥中最良藥として引例賞揚せられたる程腦病良藥としてレーベンの優れたる藥質が今や江湖の御確認を忝なうして神經系統の諸病には驚く可き効果のある事を學理上實驗上明かに證明せられたので厶います。

第一腦の要素たる燐酸を多量に含入し第二日本人の體質に適つた純植物性藥質を保ち第三和漢洋法の粹を折衷して得たる良劑で其製法は極めて文明式の製劑法に仍りました事此三事質を基本として『レーベン』の眞價を知る事が出來ます。戰亂の餘殃から來る大打撃を忍び最も高價なる腦の營養たる燐酸を多量に用ゐ絶對に藥質を變更せず、微財を盡して主藥の收集に努め、歐洲の大戰亂に際しても他の同効藥は先を爭ふて値上げを決行するに拘らず獨り吾人『レーベン』は一時的戰亂なるの故を以て財力の續く限り値上げをしないで邦家に盡す考へであります。殊に先年來漢藥研究の目的を以て危險なる南北支那地方を踏遊し、之が收集に勉むる等『レーベン』には貴い靈効の露が宿つて居ります。腦病や神經衰弱に『レーベン』のみが最も有効であると云ふ江湖の御信用に酬ゐる爲めには如此にして其原藥の精選に努力せむ事を期する次第で厶います。

益御愛用を得る――卽ち需要が多い、よく賣れる、卓効があると云ふ事が『レーベン』をして今日の世に藥價を支へ品質を保ち彌理想の美果を結びつゝある唯一の根據で厶います。何卒今後は一層の御眷顧を仰ぎたいので厶います。同時に愛國的赤誠を以て『レーベン』の製藥に熱中する吾人の微衷をお汲み下さる樣偏に御願申上ます。

▲お申込下されば何人でも直ぐ無代で『[illegible]』腦神經衰弱療法』『精神療法』の二冊を進呈

醫治的効能と容態

●レーベンは日本人の體質に適合せる植物性の最善の鎮劑なれば腦病、神經衰弱、頭痛、腦充血、逆上、ヒステリー、陰萎、遺精、貧血等の腦神經系諸病に奏効極めて顯著であります。そして本病は左記の如き症狀を呈し來るのであります。

●レーベンを服用すべき腦神經衰弱病者の症候とも云ふべきは頭重、頭内朦朧、耳鳴、記憶力減退、陰萎、頭痛、呼吸困難、心悸亢進、精神憂鬱、胃腸知覺異常、意思薄弱、[illegible]、便秘、嘔氣、頭痛、眩暈、眼火閃發、卒倒、嗜眠、思考力減退、局部麻痺、顏面紅潮、睡眠不安、視力薄弱、精神衰耗、呼吸困難、精神困憊、筋骨疲勞、元氣缺乏、執務倦怠等の容體が起つてくるのでありますから其一つを患ふ人は最終の試藥として今直に試みられよ本品は大黄を主とせる下劑でないから服用後下痢をしたり腹痛を起すことはない、而も用量は少くして効驗極めて顯著です。

◆藥價　三十錢。五十錢。八十五錢。一圓六十錢。三圓。五圓五十錢

本舖　東京市京橋區弓町二十二　弘濟藥院　中南定太郎　振替東京二三一番　電話京橋三〇八番

大阪市東區安土町堺筋　弘濟藥院　中南定太郎　振替大阪三四四番　長電本局三〇〇七番

代理店　朝鮮京城南大門通三丁目　新井虎太郎

商況

▲仁川期米

一日後場　兵庫大阪後寄米著大阪前止二十二圓八十錢にて當地寄十九圓七十錢中十九圓八十二錢より九十錢と上伸し七十二錢と五十錢し六錢さ[illegible]

▲下押す　大阪正寄後寄米著にて十九圓八十二錢六十八錢さ五落したるが押目は又買物多く七十三錢と返し二錢と大波瀾徑に不勢の成行を示したるが押目は又買物多く七十三錢と返し二錢と故留を告げたり市況は久敷晴天續きにて近く降雨あらんとは一般の豫期する處なるも何分目上の快晴に果して降雨の如く大阪の安入電と賣物多く然るに前[illegible]

▲在米大減少

大麥	一九六	五、九一三
粉米	七一八	七、〇三一
粟	二五〇	一五〇
外國米	六五四	

仁川在米は大に減少し前回より更に[illegible]

▲海州小麥九圓六十錢同大豆十四圓六十錢さ十一圓三十錢[illegible]

▲報誤[illegible]

京日案内

普通一回前金　五十錢　番外一回前金一圓（匿名一圓增し）

▲申込後中途廢載中止の節は特に前金返戻せず
▲六回以上の御申込は特に割引
▲御照會は返信料附にあらざれば回答せず
▲御照會の節は必ず數字の番號御記入なさる

◉某商品註文取の外務員入用商業に經驗ある人至急本人申込まれたし　本町二丁目　日之出商行本店　361

◉外交員數名募集　京城御成町三二　滿洲日日新聞支局　362

◉看護婦及見習看護婦募集　希望者は履歷書送附又は來談　南大門驛前電一四五一　南大門醫院　364

番外

今般市區改正に付き左記へ移轉仕候　京城壽町三八番地　日の出校學前　遠藤洋服店　電話三一三　359

有勤入向貸家　四疊半二間玄關　二疊一間　場所　昌德宮横苑洞　高麗人參製藥所　電話二五九九番　354

年金、恩給月利即時立替　短期三年半迄無保險金一歩二厘　商品陳列館　▲京城永樂町一長門前下角　江州屋本店　166

京城春川間　自働車　京城發前八時　春川發前八時　京城水標橋通り　電話二一三八番　賃金片道四圓　◉春川自働車商會　松田壽男　360

古ミシン高價買入　電話又はハガキにて御一報次第參上　京城鍾路二バゴダ公園近電話一三三八番　楠商店　240

◉礦物定量分拆　太平町二丁目二五　電話長三四四　朝鮮公論社左横小路　坂元分拆所　322

貸家　黄金町五丁目幽邃なる庭園あり廣潤閑靜空地畑地あり間數八倉庫二浴場一家賃四十圓　電話○六七一　三巴株式會社　333

恩給年金即時立替月利一分　何年分でも特別御便利に御相談可致候　京城若草町百六　電話三〇一一番　西村商會　303

購買入札　玄米、白米、大豆、精粟　右購買ス詳細ハ大正六年八月二日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ　朝鮮總督府

商業登記公告

商號「潤昌商會」ノ使用者白潤洙ハ大正六年七月拾五日營業所ヲ京城府公平洞九拾八番地ニ移轉シタリ　右大正六年七月拾八日登記

不二興業株式會社取締役藤井寛太郎ハ大正六年七月貳拾四日其ノ住所ヲ京城府旭町壹丁目百四拾貳番地ニ移轉シタリ　右大正六年七月貳拾五日登記

株式會社石川縣物產紹介所取締役富田太助八、谷口吉次郎、向田武吉、藤井久太郎ハ任期滿了ノ處大正六年七月六日各重任シタリ

同會社ハ大正六年七月六日目的ヲ物品ノ製造及其委託販賣並ニ其代理營業」ト變更シタリ

日鮮企業株式會社取締役小川喜作、藤治郎ハ大正六年七月拾四日任期滿了ノ處同日重任シタリ

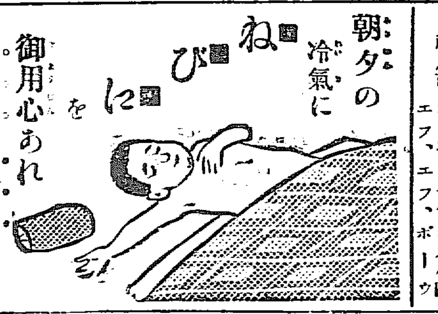
野口縣之助ハ任期滿了ノ處同日重任シタリ

島倉之助、取締役矢島倉之助ハ右同日辭任シタリ

株式會社鈴木梅四郎ハ任期滿了ノ處大正六年七月貳拾日重任シタリ

右大正六年七月貳拾八日登記

京城地方法院



朝夕の冷氣に　ねびえに　御用心あれ

小兒のねびえには　新藥オインに限る　藥價十錢・二十錢・三十錢

大人のねびえ又はかぜねつには…… 蛇印アンチピリン丸を　スグ服用あれ確に効あり　價十錢廿五錢五十錢・全國各藥店に有り

本舖　大阪心齋橋　東京銀座町　丹平商會藥房

確實なる仲介人を求む　米國ニューヨーク市の市場向朝鮮製品を何なりと共買入可申候若し此廣告に對して見本及確實なる證明を添へ且手數料等に關する條件を付し御回答被下候へば直に送金可致候

神戸市　オリエンタル、ホテル内　エフ、エフ、ポーウ

專賣特許出願中　光澤壁塗料

右壁料を以て朝鮮銀行内部塗替致候御序での節御一覧を乞ふ　龍山漢江通十三番地（小學校前）　製造發賣　浦田商會　電話四四六番

京城旭町二丁目五十一番地　佐藤熊太郎　電話四七九番

京城長谷川町八十四番地　取次所　滿鮮工業社代理部　電話二四六七番

京城本町三丁目卅八番地　取次所　黑宮精逸　電話二三一二番

新劑梅毒　唯一丸

發生の時期なり　梅毒胎毒横根痳痺リヨマチス等の病毒より來る病毒は毒菌を治滅すると共に安全に體内より驅除すべき藥により其目的を達す現今の梅毒藥は其他の中胃腸障害の副作用を起さず此兩特効を併有するは梅毒專門藥唯一丸なり百藥効なき方は速に此良藥により不安を去られよ

三日分四十錢一週間入一圓五十錢一ヶ月三圓持製九圓十三圓●全國有名藥店にて販賣せり（品切の時は直接御注文を乞ふ）其病理養生法を親切に詳述したる冊子を無代進呈す送料四錢を要す

發賣元　東京市牛込區神樂坂上　中西藥局　中西莊吉　振替東京一千五百番

恐るべき梅毒　身を亡ぼし家を亡ぼす　子孫を亡ぼし國を亡ぼす

新劑梅毒　唯一丸

夏秋蠶種發賣

例年の通り責任を以て發賣致候代金は一切前金の事　著金次第完全なる郵送荷に納め御送付致候　途中發生又は其他異變の場合は御取替又は御返金致候　御送金は小爲替又は振替京城二二六二番御便利に候

京城府漢江通四番地　東蠶社種苗部　長電話龍山六四番電話二二(ト)　振替口座京城二二六二番

内地製特別露種　代價一枚金六十錢　九月末日迄毎日出穴

◎朝鮮藥學會口演の村田藥劑正發明

山林果樹園藝害虫驅除劑　特許出願第三三九二八號

シーエス液　本劑は特に松毛むしに効あり

元液一本　金三十錢　送料十二錢　（稀薄液二五〇倍にて三斗七升五合分）

朝鮮京城旭町一丁目電話一〇七八番　朝鮮京城元町一丁目電話四二四番　山田商店

取次販賣御希望の御方御申込下され度候

『牛』の著者　岡本米藏君新著

筍

四六判布表紙函入本文三百二十頁　表紙竹内栖鳳畫伯挿繪栖鳳氏二葉　正價金壹圓　朝鮮郵税八錢內地滿洲郵税卅錢

『牛』の姉妹篇也。不健全なる思想の變除、健全なる國民思想の建造に日夕焦慮する著者が愛國の熱情迸發して本書となる。著者は現代青年の最も信頼すべき味方也。

▲牛　岡本米藏君著　七十七版正價壹圓　朝鮮郵税八錢內地滿洲郵税三十錢

熱情迸發して本書となる。生の海外事業の發展と國民思想の建造とは著者畢生の願望にして亦た生命也、從つて説く所や血あり涙あり斷じて凡上の空論にあらず。本書一度出版の報傳はるや四方爭ひ求めて、約既に萬を越ゆ以て著者の權威を知るべし。

東京市本町　博文館發行

賣捌所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

取次所　京城本町一丁目　振替京城二五七三番　大阪屋號　京城本町二丁目　振替京城二四五四番　嚴松堂

天下の渇仰　著名愈出づ

比較は最良の撰擇法なり!!

サクラ正宗　サクラ正宗

京城明治町二丁目　山邑京城支店　電話　八四一　四五四　九四番　振替京城五七番

資本金　貳千貳百七拾萬圓　積立金　壹千〇五拾五萬圓

株式會社　第一銀行京城支店　京城本町二丁目（振替貯金京城二一一番）　支配人　西村道彦

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候　内地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候　明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

最新刊

書名	著者	定價
半七捕物帳	岡本綺堂	七五
長編讀物 深川情話 伊達一休	桃川燕玉	三〇
南條文雄著		定價一、〇三

進むべき道

書名	著者	定價
傑内藏助	安藤末喜	一、二〇
橋院長兵衛	琉璃	一、三〇
世間學	村上浪六	九五
當世百道樂	堀内新泉	一、二〇
科學的園藝全典	鈴木五段	三、八〇
朝鮮鐵道旅行案内	朝鮮鐵道局編	七〇
近代心の諸象	赤木桁平	一、三〇
自ら救ふ力	大内清醫	一、二〇
額田豐 評		定價八十五錢

天然生活法

書名	著者	定價
港の唄	和田春彦	九五
原始基督教	石原謙 山谷省吾共	一、〇〇
聖書の話	宮川己作	一、二〇

京城本町一丁目　電話六八〇・二〇六番　振替京城二五七三番　大阪屋號書店

大口貸出歡迎　質　京城黄金町長橋町入　電話二九一六番　田村質店　商品擔保便利取扱

醴泉金泉間自動車發著時間

上り一番	二番	下り一番	二番
金泉發 前八、〇〇	後三、〇〇	醴泉發 前八、〇〇	後三、〇〇
尙州發 一〇、一〇	五、一〇	尙州著 一〇、〇〇	五、〇〇
咸昌發 一〇、五〇		咸昌發 一一、〇〇	
龍宮發		龍宮發	
醴泉著		金泉著	

▲小荷物運搬仕り候　金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

大邱浦項間自動車發着時間

上り	一番	二番	下り	一番	二番
浦項發	前八、〇〇	後一、三〇	大邱發	前八、〇〇	後一、三〇
安康	八、五〇	二、二〇	永川	九、五〇	三、二〇
慶州	九、四〇	三、一〇	河陽	一〇、二〇	三、五〇
永川	一〇、二〇	三、五〇	慶州	一一、一〇	四、四〇
河陽	一一、一〇	四、四〇	安康	一二、〇〇	五、三〇
大邱著	一二、〇〇	五、三〇	浦項著	一二、五〇	六、二〇

大邱停車場前　電話一一七番　大塚農場自動車所　大邱出張部

日本郵船仁川出帆

◎大連行、太沽（天津）牛莊行
相模丸　八月　六日正午出帆
高砂丸　八月十六日正午出帆
三河丸　八月　日正午出帆
仁川海岸町十二丁目　堀回漕部

◎芝罘、大連行　朝鮮總督府命令航路　共同汽船仁川出帆
第廿共同丸　七月卅一日午後入港　八月一日前十時出帆
朝鮮郵船主要港へ前便以後各所にて荷受並に各港へ出帆共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）　仁川代理店　野口商會
元山代理店　南大門（電話二四〇七番）
京城取次店　河村運送店（電話一二六八、二〇一）

汽船釜山出帆廣告

◎門司、神戸、大阪行　八月　三日後五時出帆
◎和歌浦丸　八月　日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行　八月　日後四時出帆
◎立神丸　八月二日後十時出帆
◎和歌浦丸　八月　日後四時出帆
◎立神丸、城津、清津行　八月　日後六時出帆
◎元山、西湖、新浦、城津、清津行　月　日後六時出帆
◎第三眞平丸
◎門司、宇品、神戸、大阪行　月　日後六時出帆
◎第三眞平丸
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　每月一日九日十四日
○天與丸　日廿一日廿六日）午後十時出帆
本館　釜山港埋立新町　取扱店　大池回漕部

大阪商船仁川出帆

○外務省並びに朝鮮總督府命令航路[illegible]

◎神戸、大阪行
南部丸　八月十六日
漳州丸　八月十二日　後二時出帆
×臺東丸　八月十八日
△南浦、群山、横濱行
天智丸　月　日後二時出帆
◎木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
安東丸　八月二日
安東丸　八月十八日　後二時出帆
◎群山、横濱行
潮州丸　八月三日後二時出帆
福州丸　月　日
△南浦行
南部丸　月　日後二時出帆
漳州丸　八月十日
△鎭南浦、大連行
安東丸　八月十三日
安東丸　八月卅一日　後二時出帆
◎南浦、神戸、大阪行
臺東丸　月　日後二時出帆
◎西湖津、新浦、城津、清津行（元山出帆）
宮島丸　八月十五日後十二時出帆
◎清津行（元山出帆）
安平丸　八月九日後十二時出帆
◎上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸　八月廿四日前五時出帆
基隆丸　八月十日後四時出帆

御注意　運賃諸設定及び手續等は弊社本支店又は本社へ御照會を乞ふ

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話一一三五番
切符發賣所　内國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り開業旅館　電話二六番

尼崎汽船仁川出帆

◎群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○君が代丸　八月十一日後四時出帆
○大有丸　八月七日後四時出帆
○秀吉丸　二月　日後四時出帆
△神代丸　二月　日後四時出帆
▲印大阪直行
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

本社　電話長一九五三番　三三番

◎關門より釜山各地經由雄基行
但し×印あるは江原道寄港せず
×京畿丸　八月十四日
×忠淸丸　八月五日
成鏡丸　八月九日
忠淸丸　八月十九日　釜山發
◎元山より各地經由雄基行
咸鏡丸　八月六日
城津丸　八月二日
三浦丸　八月四日　元山發
◎浦潮行（元山より城津清津經由）
平安丸　八月二日　元山發
◎元山長箭間
鏡城丸　八月一日
明川丸　八月九日
穩城丸　八月十四日　元山發
◎釜山元山間
慶寶丸　八月二日　釜山發
◎鬱陵島行浦項及各地經由
登德丸　八月二日　釜山發
◎浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
金海丸　每日
襄陽丸　每日　釜山發
◎濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸　八月六日　釜山發
◎麗水行（各地經由）
統營丸　巨濟丸　每日　釜山發
◎木浦羅州間（麗水にて釜山行接續）
南陽丸　順天丸　三日目毎に　木浦發
◎木浦より濟州島行各島經由
東萊丸　八月三日
西歸、慶興丸　八月七日　木浦發
◎多島海各島行
慶興丸　八月二日　木浦發
◎木浦行（群山外他各地經由）
晋州丸　八月七日
麗水丸　八月二日　仁川發
◎鎭南浦行（海州其他各地經由）
宗信丸　八月三日　仁川發
◎海州行（江華島各島經由）
全州丸　錦江丸　每日　仁川發
但し三十一日は休航

支店　京城南大門驛前　京城支店出張所代理店特約店外航運送取扱店に御照會の程願上候　京城荷客取扱店　松原運送店　電話一一七〇番